

平成 30 年度（2018 年度）

事 業 報 告 書

（2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで）



2019 年 5 月 23 日

学校法人 帝塚山学院

目 次

I 法人の概要

1	設置する学校・学部・学科等	P 1
2	学校法人組織構成図	P 2
3	学校・学部・学科等の入学定員、学生数の概要	P 3
4	役員・教職員の概要	P 5
	（1）理事会	
	（2）評議員会	
	（3）教職員数	
	別表 1	P 8

II 法人事業の概要

1	本学院の状況	P14
---	--------	-----

III 2018年度 帝塚山学院の事業報告の骨子

1	法人本部	P19
2	幼稚園	P21
3	小学校	P24
4	泉ヶ丘中学校高等学校	P28
5	中学校高等学校	P31
6	大学	P35
7	大学院人間科学研究科	P40
8	2018年度学生異動及び卒業生の進路	P43

IV 財務の概要

1	2018年度決算の概要	P60
	(1) 財産目録	
	(2) 資金収支計算書	
	(3) 活動区分資金収支計算書	
	(4) 事業活動収支計算書	
	(5) 貸借対照表	
	(6) 収益事業 貸借対照表	
	(7) 収益事業 損益計算書	
2	経年比較	P70
	(1) 資金収支の推移	
	(2) 事業活動収支の推移	
	(3) 貸借対照表の推移	
	(4) 財務比率表の推移	

I 法人の概要

1. 設置する学校・学部・学科等

(1) 帝塚山学院幼稚園 (園長: 田中 幸枝)

(2) 帝塚山学院小学校 (校長: 神原 利浩)

(3) 帝塚山学院中学校 (校長: 瀧山 恵)

(4) 帝塚山学院高等学校 (校長: 瀧山 恵)

(5) 帝塚山学院泉ヶ丘中学校 (校長: 江口 宗茂)

(6) 帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 (校長: 江口 宗茂)

(7) 帝塚山学院大学 (学長: 津田 謹輔)

学部

リベラルアーツ学部

リベラルアーツ学科

人間科学部

キャリア英語学科

情報メディア学科

心理学科

食物栄養学科

大学院

人間科学研究科

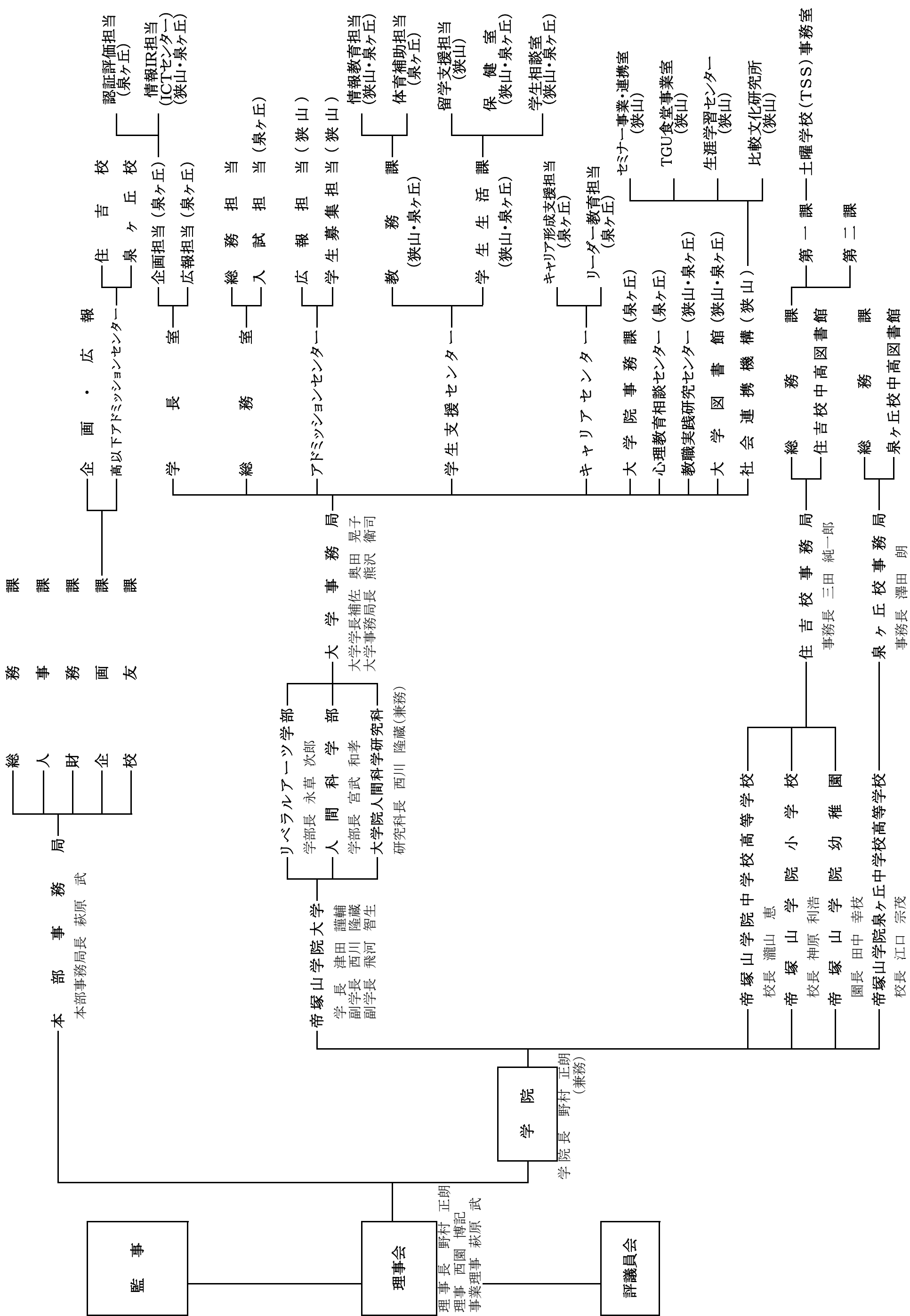
人間科学専攻

人間科学研究科

臨床心理学専攻(専門職)

2. 学校法人組織構成図(平成30年度)

平成30年11月1日現在



3. 学校・学部・学科等の入学定員、学生数の概要

(参考) 2018年5月1日現在

	学部・学科名等	定員		現員						合計
		入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
大学院	人間科学研究科									
	人間科学専攻	10	20	0	0					0
	人間科学研究科(専門職)									
	臨床心理学専攻	20	40	14	13					27
	大学院計	30	60	14	13					27
大学	リベラルアーツ学部									
	リベラルアーツ学科	130	550	96	56	65	69			286
	リベラルアーツ学部計	130	550	96	56	65	69			286
	人間科学部									
	キャリア英語学科	50	200	45	19	23	21			108
	情報メディア学科	70	300	46	46	40	38			170
	心理学科	150	600	133	109	108	104			454
	食物栄養学科 管理栄養士課程	80	320	79	75	94	93			341
	食物栄養学科 健康実践栄養士課程	40	160	25	33	49	42			149
	人間科学部計	390	1,580	328	282	314	298			1,222
	大学学部計	520	2,130	424	338	379	367			1,508
高等学校 以下	帝塚山学院高等学校	250	750	271	244	241				756
	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	280	840	299	304	268				871
	帝塚山学院中学校	200	600	242	222	240				704
	帝塚山学院泉ヶ丘中学校	160	480	173	190	172				535
	帝塚山学院小学校	120	720	106	112	116	113	116	113	676
			総定員	(3歳児)	(4歳児)	(5歳児)				
	帝塚山学院幼稚園	50	160	50	45	47				142
	高等学校以下計	1,060	3,550	1,141	1,117	1,084	113	116	113	3,684
合 計		1,610	5,740	1,579	1,468	1,463	480	116	113	5,219

(参考)2019年5月1日現在

	学部・学科名等	定員		現員						合計
		入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
大学院	人間科学研究科									
	人間科学専攻	10	20	0	0					0
	人間科学研究科(専門職)									
	臨床心理学専攻	20	40	20	13	1				34
	大学院計	30	60	20	13	1				34
大学	リベラルアーツ学部									
	リベラルアーツ学科	120	510	148	87	53	64	5	2	359
	リベラルアーツ学部計	120	510	148	87	53	64	5	2	359
	人間科学部									
	キャリア英語学科	30	180	53	41	19	21	5		139
	情報メディア学科	50	260	77	45	44	38	5	2	211
	心理学科	130	580	142	132	105	101	10	4	494
	食物栄養学科 管理栄養士課程	80	320	79	78	74	94	1	1	327
	食物栄養学科 健康実践栄養士課程	40	160	45	23	32	49		2	151
	人間科学部計	330	1,500	396	319	274	303	21	9	1,322
	大学学部計	450	2,010	544	406	327	367	26	11	1,681
高等学校以下	帝塚山学院高等学校	250	750	264	259	237				760
	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	280	840	288	296	297				881
	帝塚山学院中学校	200	600	278	238	214				730
	帝塚山学院泉ヶ丘中学校	160	480	155	173	188				516
	帝塚山学院小学校	120	720	115	107	110	116	113	115	676
			総定員	(3歳児)	(4歳児)	(5歳児)				
	帝塚山学院幼稚園	50	160	50	53	48				151
	高等学校以下計	1,060	3,550	1,150	1,126	1,094	116	113	115	3,714
合 計		1,540	5,620	1,714	1,545	1,422	483	139	126	5,429

注 1.) 帝塚山学院大学では2019年4月より入学定員を下記のとおり変更している。

帝塚山学院大学リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科	130名から120名に変更
帝塚山学院大学人間科学部キャリア英語学科	70名から50名に変更
帝塚山学院大学人間科学部心理学科	150名から130名に変更

4. 役員・教職員の概要

(1) 理事会(平成30年度内異動を含む)

■理事	定員:12人以上25人以内	現員:16人	※は非常勤
理事長	野村 正 朗		
事業理事	萩 原 武		
理事	江 口 宗 茂		
理事	近 衛 彰	※	
理事	瀧 山 恵		
理事	津 田 謹 輔		
理事	寺 田 千代乃	※	
理事	土 肥 孝 治	※	
理事	西 川 隆 蔵		
理事	西 園 博 記		2019/3/31付退任
理事	野 村 明 雄	※	
理事	長 谷 川 正	※	2019/3/31付退任
理事	原 充 弘	※	
理事	福 田 順太郎	※	
理事	山 田 昌 子	※	
理事	山 本 雅 弘	※	

■監事	定員:2人又は3人	現員:3人	※は非常勤
監 事	三 木 二 良	※	
監 事	本 井 文 夫	※	
監 事	山 根 敬 介	※	

■理事会、理事会常務委員会の開催回数
平成30年度
理事会:4回
理事会常務委員会:43回

■理事会、理事会常務委員会の議事内容
別表1参照。

(2)評議員会(平成30年度内異動を含む)

■評議員 定員:30人以上52人以内 現員:37人

※は非常勤

評議員	秋田悦子	※
評議員	有田太郎	※
評議員	井元成浩	
評議員	今井幸子	※
評議員	植田宏	※
評議員	太田重彦	※
評議員	奥田晃子	
評議員	神原利浩	
評議員	木下敏彦	※
評議員	五味義文	※
評議員	佐々木茂夫	※
評議員	澤田朗	
評議員	竹内正明	※
評議員	田中幸枝	
評議員	田村浩	
評議員	津田謹輔	
評議員	筒井規子	
評議員	鶴崎裕雄	※
評議員	中村浩一	※
評議員	西浦寿子	※
評議員	西園博記	
評議員	野村正朗	
評議員	萩原武	
評議員	長谷川正	※
評議員	飛河智生	
評議員	平井啓一	※
評議員	平田康夫	※
評議員	廣富靖以	※
評議員	福原伸明	
評議員	古川繁浩	※
評議員	細川博	※
評議員	松本隆司	※
評議員	道野充宏	※
評議員	矢野秀利	※
評議員	山下章	
評議員	山田昌子	※
評議員	脇田忠昭	※

2019/3/31付辞任

2019/3/31付退任

2019/3/31付辞任

■評議員会の開催回数

平成30年度

評議員会:4回

(3)教職員数(平成30年5月1日現在)

(教員)

		専任	任期制専任	常勤・契約	特任	非常勤	計
帝塚山学院大学	リベラルアーツ学部	14	2	0	0	166	243
	人間科学部	28	9	9	15		
	大学院	1	0	0	3	13	17
帝塚山学院中学校高等学校		56	11	17	0	62	146
帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校		54	11	27	0	36	128
帝塚山学院小学校		23	7	12	0	15	57
帝塚山学院幼稚園		7	2	3	0	0	12
合計		183	42	68	18	292	603

(職員)

	専任	任期制専任	契約・嘱託	派遣	アルバイト	計
法人本部	15	5	7	4	1	32
大学狭山キャンパス事務局	10	2	13	3	9	37
大学泉ヶ丘キャンパス事務局	17	3	17	3	9	49
住吉校事務局	4	1	5	3	12	25
泉ヶ丘校事務局	3	3	3	2	5	16
合計	49	14	45	15	36	159

別表 1 ①理事会の審議事項

開催年月日	監事の出席	議事内容
平成30年5月24日	有	第1号議案:平成29年度事業報告および決算(案)の件
		第2号議案:就業規則 一部変更の件
		第3号議案:大学学則 一部変更の件
		第4号議案:学長選考会議委員選任の件
平成30年10月26日	有	第1号議案:各設置学校 学則一部変更の件
		第2号議案:学長選考に関する諸規程、副学長選任規程 一部変更の件
		第3号議案:管理職教員 辞任および選任の件
		第4号議案:平成30年度補正予算(案)の件
平成31年2月21日	有	第1号議案:大学学則 一部変更の件 (2020年4月から定員を450人から370人への変更、キャリア英語学科および情報メディア学科 募集停止の件)
平成31年3月28日	有	第1号議案:小学校教頭 選任の件
		第2号議案:大学副学長、学部長 辞任および選任の件
		第3号議案:理事、監事、評議員、顧問 退任および選任の件
		第4号議案:本法人就業規則 一部変更の件
		第5号議案:各設置学校学則 一部変更の件 (高等学校、泉ヶ丘高等学校、大学、大学院)
		第6号議案:校長選考に関する諸規程 一部変更の件
		第7号議案:学長選考会議委員 選任の件
		第8号議案:2019年度 当初予算および事業計画の件
		第9号議案:臨時理事会審議予告の件(理事長、学院長、理事長職務代理者、事業理事 選任の件)

別表 1 ②理事会常務委員会の議事内容

回数	開催年月日	議事内容
平成30年度 第1回	平成30年4月12日	報告事項
		組合関係
平成30年度 第2回	平成30年4月19日	報告事項
		教職員人事関係
平成30年度 第3回	平成30年4月26日	報告事項
		教職員人事関係
平成30年度 第4回	平成30年5月10日	報告事項
		平成29年度事業報告書および決算（案）について
		大学学則の一部変更について
		衛生委員会委員の推薦依頼について
		年次有給休暇の時間単位付与に関する協定書について
		年次有給休暇の時間単位付与導入および 常勤講師等の年次有給休暇の付与方法変更に伴う諸規程変更について
		慶弔見舞金規程の一部変更について
		役員候補者選考委員会委員、学長選考会議委員、校長選考会議 委員の選任について
		平成30年 5月24日開催 理 事 会、平成30年 5月25日開催 評議員会の議案について
平成30年度 第5回	平成30年5月17日	報告事項
		教職員人事関係
		入学金の見直し検討について
		平成30年度 各設置学校における海外研修プログラムの対応について
平成30年度 第6回	平成30年5月24日	報告事項
平成30年度 第7回	平成30年5月31日	報告事項
		組合関係
		理事会常務委員会が推薦する平成30年度 教育後援会顧問ならびに幹事（案）について
平成30年度 第8回	平成30年6月7日	報告事項
		組合関係
平成30年度 第9回	平成30年6月14日	報告事項
平成30年度 第10回	平成30年6月21日	報告事項
平成30年度 第11回	平成30年6月28日	報告事項
		本部事務局校友課の新設、大学事務局事務組織の一部変更および事務組織規程の一部変更について
平成30年度 第12回	平成30年7月5日	報告事項
		教職員人事関係
		大学学則 一部変更、学長補佐に関する規程 制定、給与規程 一部変更について

別表 1 ②理事会常務委員会の議事内容

回数	開催年月日	議事内容
平成30年度 第13回	平成30年7月12日	報告事項
		教職員人事関係
		大学学則 一部変更、学長補佐に関する規程 制定、給与規程 一部変更について
		組合関係
平成30年度 第14回	平成30年7月26日	報告事項
		教職員人事関係
		大学非常勤講師規程の一部変更について
		組合関係、過半数代表者関係
平成30年度 第15回	平成30年8月2日	報告事項
		教職員人事関係
		学院創立100周年記念奨学金 奨学生の選考について（平成30年度前期分）
平成30年度 第16回	平成30年8月23日	報告事項
		教職員人事関係
平成30年度 第17回	平成30年8月30日	報告事項
		教職員人事関係
平成30年度 第18回	平成30年9月6日	報告事項
		教職員人事関係
		組合関係
平成30年度 第19回	平成30年9月20日	報告事項
		教職員人事関係
		小学校、両中学校高等学校学則の一部変更について
		帝塚山学院 公用車運転手服務規程（案）の制定について
		大阪府最低賃金改定に伴う、アルバイト職員時給単価の見直しについて
		組合関係
平成30年度 第20回	平成30年9月27日	報告事項
		教職員人事関係
		大学学則の一部変更について
		大学学部長規程の制定について
平成30年度 第21回	平成30年10月4日	報告事項
		教職員人事関係
		学長選考に関する諸規程、副学長選任規程の一部変更について 校長選考に関する諸規程の一部変更について

別表 1 ②理事会常務委員会の議事内容

回数	開催年月日	議事内容
平成30年度 第22回	平成30年10月11日	報告事項
		教職員人事関係
		平成30年度 補正予算（案）について
		平成30年10月25日開催 評議員会、平成30年10月26日開催 理事会の議案について
平成30年度 第23回	平成30年10月18日	報告事項
		教職員人事関係
		役員候補者選考手続きについて
平成30年度 第24回	平成30年10月25日	報告事項
		教職員人事関係
平成30年度 第25回	平成30年11月1日	報告事項
		教職員人事関係
平成30年度 第26回	平成30年11月8日	報告事項
		教職員人事関係
		大学学科長規程の一部変更について
		大学教職実践研究センター規程の一部変更について
平成30年度 第27回	平成30年11月15日	報告事項
		教職員人事関係
		高等学校学則一部変更について
		給与規程等の一部変更等について
平成30年度 第28回	平成30年11月22日	報告事項
		教職員人事関係
平成30年度 第29回	平成30年11月29日	報告事項
		教職員人事関係
		再雇用規程の一部変更について
平成30年度 第30回	平成30年12月6日	報告事項
		教職員人事関係
		組合関係 ・ 過半数代表者関係
平成30年度 第31回	平成30年12月13日	報告事項
		教職員人事関係
		給与規程等の一部変更等について
		働き方改革関連法に関する対応案について

別表 1 ②理事会常務委員会の議事内容

回数	開催年月日	議事内容
平成30年度 第32回	平成30年12月20日	報告事項
		教職員人事関係
		過半数代表者関係
平成30年度 第33回	平成31年1月10日	報告事項
		教職員人事関係
		「教育職契約職員雇用規程」「一般職契約職員雇用規程」「専任職員採用に関する手続規程」の一部変更について
平成30年度 第34回	平成31年1月17日	報告事項
		教職員人事関係
		非常勤講師の無期雇用契約への転換について
		過半数代表者関係
平成30年度 第35回	平成31年1月24日	報告事項
		教職員人事関係
平成30年度 第36回	平成31年1月31日	報告事項
		教職員人事関係
		大学学則 一部変更について
		専門職大学院 臨床心理学専攻 実務家教員に関する規程の一部変更について
平成30年度 第37回	平成31年2月7日	報告事項
		教職員人事関係
		臨時評議員会、臨時理事会の議案について
		学院創立100周年記念奨学金 奨学生の選考について（2018年度後期分）
		過半数代表者関係
平成30年度 第38回	平成31年2月14日	報告事項
		教職員人事関係
		過半数代表者関係
平成30年度 第39回	平成31年2月21日	報告事項
		教職員人事関係
		大学院学則 一部変更について
平成30年度 第40回	平成31年2月28日	報告事項
		教職員人事関係
		校長選考に関する諸規程の一部変更について
		年5日 年次有給休暇取得義務化の対応と就業規則等の一部変更について
		G20大阪サミット開催への対応について
		過半数代表者関係、組合関係

別表 1 ②理事会常務委員会の議事内容

回数	開催年月日	議事内容
平成30年度 第41回	平成31年3月7日	報告事項
		教職員人事関係
		大学学則 一部変更について
		事務組織 一部変更について
		各設置学校の部活動方針について
平成30年度 第42回	平成31年3月14日	報告事項
		教職員人事関係
		2019年度 当初予算および事業計画について
		理事、監事、評議員、顧問の退任および選任について
		理事長、学院長、理事長職務代理者、事業理事の選任について
		理事会・評議員会の議案について
		就業規則の一部変更について
		事務組織規程の一部変更について
		情報セキュリティポリシーの制定について
平成30年度 第43回	平成31年3月28日	報告事項
		教職員人事関係
		学校医の委嘱について（住吉校耳鼻咽喉科）
		部活動指導員の導入について
		大学学科長規程の一部変更について
		過半数代表者関係

Ⅱ 法人事業の概要

1 本学院の状況

学校法人帝塚山学院は、1917（大正6）年4月の小学校開校以来、「力の教育」を標榜し、「意志の力」、「情の力」、「知の力」、「躯幹の力」を備えた人物の育成に邁進し、幼稚園から大学院まで8つの設置校を擁する関西屈指の総合学園へと発展を遂げることができました。これもひとえにみなさま方のお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

しかしながら、わが国の教育機関を取り巻く社会環境は著しく変化しており、その具体例としては少子高齢化社会の進行、高度情報化の進展、産業構造の変貌、グローバル化の進展、科学技術の進歩と地球環境問題の深刻化、国民意識の変容等があり、私学を取り巻く環境は一層の厳しさを増しています。

特に少子高齢化社会の進行については、2018年度（平成30年度）は、多数のメディアで取り上げられていた「2018年問題」の開始年度に突入いたしました。国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2009年度（平成21年度）以降横ばいの状態で推移していた18歳人口は、2017年度（平成29年度）の約120万人が、2030年度には103万人、2040年度には80万人にまで減少すると試算されています。

そうした中、今後も世界的に社会構造が変化していく21世紀は、下記の4つを備えた人材が求められています。

1. 「夢中力」自己肯定感のある人材
2. 創造的・協働的活動を自発・創発し、やり遂げる人材
3. 「想定外」や「板挟み」と向き合い乗り越えられる人材
4. AIで解けない問題・課題・難題と向き合える人材

このような状況を踏まえ、学院としては園児・児童・生徒・学生の知性と個性を伸ばし、教育の質的向上を図り、真の「力」のある人材の育成をめざして、さらなる教育環境の充実を図り、21世紀に求められる人材を育てるべく、教学と経営が一体となって、改革に邁進してまいりました。

一方では、労働基準法の一部改正、働き方改革関連法の施行に伴い、「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策」もより一層講じる必要が生じてきました。

そのため、教育の質を維持しながらも、学校の組織運営体制の在り方、学校の労働安全衛生管理、勤務時間管理の徹底、時間外勤務の抑制に向けた制度的な措置等についても対応してまいりました。

本学院は2016（平成28）年度に5ヵ年の中期計画を作成し、3年が終了しました。引き続き P（計画）→D（実行）→C（評価）→A（改善）サイクルを回し、改革に学院全体をあげて取り組んでまいりました。

2019（平成31、令和元）年度の学生生徒等の募集状況は、法人全体としては平成8年以来22年ぶりに、全学部において入学定員を確保することができました。

大学は前年度に続き入学志願者増を目指し、アドミッション体制の強化を図り、具体的には、入試方法の継続的改善、広報活動の見直し、オープンキャンパスの企画見直しによる参加者数目標達成、学生募集委員会での情報共有を通じた教職員一体化進展、就職内定率の上昇などにより入学者を確保することができました。

今後も引き続き、大学組織の強化を図りながら、教職員一体となったさらなる学生サービス向上を実現し、学生からの満足度や卒業生の就職実績などをさらに学生募集に反映させます。

両中学校高等学校における入学志願者の確保につきましては、「教職協働」による綿密な募集活動を継続できたことにより、順調に推移しました。特に中学校高等学校では関西の私立女子中学校志願者が前年度比一段と減少する中、志願者を増やすことができ、また、入学者数も定員を大幅に上回ることができました。

泉ヶ丘中学校高等学校においても、入学者の学力面での質的担保のために入学者選抜の厳格化を行いました。地域重視の学校説明会が定着してきたことから入学者の確保は予定通りの結果となりました。また、進学状況についても過去最高の国公立大学合格者数となりました。

小学校については、3年ぶりに入学定員を確保できました。募集活動の早期化や計

画化に注力し、対外活動の強化が順調に推移しています。また、基礎学力の保障や進学への取組等管理体制の強化を確実に進行させています。

幼稚園は少子化の影響を真っ先に受けることになりますが、特色ある保育実績が保護者から高い評価を維持し続けていることと、その保育実績の発信力が確実に強化されたことにより、定員を上回りました。

以上のように、徐々にではありますが、改善効果が出てきたのではないかと実感しております。しかしながら、財務基盤力の強化については、スタートする大学改革「一黒字化の実現と教育の質保証の確立」が完遂するまでの期間、本法人の財政は厳しい収支が予想されますので、これまで以上に経営と教学が一丸となって、教育の質保証と健全な財務体質の構築の両立を積極的に取り組んでいく所存でありますので、一層のご支援・ご鞭撻の程お願い申し上げます。

Ⅲ 2018年度 帝塚山学院の事業報告の骨子

1. 2018年度事業報告（法人本部）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) エンロールメントマネジメントの導入 ① 各設置校の学生・生徒等カルテ構築への関与	① 学院全体のICT環境調査が完了し、住吉キャンパスのネットワーク環境再構築を推進中
(2) ICTを活用した教育の推進	情報セキュリティポリシーなどのソフト面の整備及びネットワーク環境のハード面の構築を推進中
(3) 優秀な人材の採用	- 教員採用：学外での学校説明会を2校で開催。(学内での「教員志望者対象学校説明会」を2回開催。 - 職員採用：住吉校事務局、大学事務局、本部で専門職を採用。

1. 2018年度事業報告（法人本部）

2. 組織力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 理事長および学校園長のリーダーシップによるガバナンス体制の強化 ① 理事会・評議員会の機能強化 ② 組織体制の見直し ③ 学長および校長選考方法の見直し ④ 保護者アンケートの実施とそれに対する迅速な対応 (2) コンプライアンス体制・機能の強化 ① 監事の役割強化 (3) リスクマネジメント体制の確立 ① 危機管理マニュアルの再点検 ② 災害発生時の初期対応強化 (4) 人事制度の改善 ① 高以下の教員の時間外管理の導入 ② 職員の人事考課制度の確立 ③ 教員の人事考課制度の導入 ・大学教員への人事考課制度の実践 ・幼稚園から高等学校までの教員への人事考課制度の導入	① 外部有識者の比率50%超を維持 ② 住吉校事務局の組織体制の分離・再編を実施（二課体制）。大学図書館の外部委託を次年度実施 ③ 学長：学長選考会議への推薦方式への変更 校長：学長選考会議への推薦方式への変更 ④ 一部 Web方式にて実施 ① 監事と常勤理事との意見交換会を調整中 ① 危機管理セミナーの内容をふまえ、学院の一貫した危機管理マニュアルの再点検中 ② 学院全体での安否確認システムを導入。個人登録率の向上を継続中 ① 平成30年4月より導入済 ② 現行制度の精度を高め、一部見直しの実施を目指す ③ 人事考課制度導入に向け準備

1. 2018年度事業報告（法人本部）

2. 組織力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(5) 事務組織の円滑な運営 ① 法人本部の体制見直し ② 職員全体を対象とした研修を年2回実施	① ICT担当を増員 校友課を新設し、2名の事務職員を配置 ② 4月に新任教職員研修、11月にフォローアップ研修を実施
(8) 知名度向上のための広報戦略 ① パブリシティ活動 ② アナログ広報 ③ デジタル広報 ④ 学院総合パンフレットの作成	① ニュースリリースの発行を増加 ② 帝塚山学院通信第21号を発行 ③ ログ解析報告会の実施とそれを踏まえた効果的なコミュニケーションを実施した ④ 5月に改訂版を作成し就職支援会や、教員採用説明会などで配付
(9) 帝塚山ネットワークの構築 ① ステークホルダーとの関係強化 ・就職支援会の活動強化 ・各同窓会との関係強化	① 就職支援会の活動を強化 ・支援企業の学内行事への参加が増加 ・寄付金制度立案、各同窓会事務員の給与支払いを協働

1. 2018年度事業報告（法人本部）

3. 財務基盤力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 増収策 ① 学費の計画的な改定 ② 積極的な補助金の獲得 ③ 寄付金システムの構築	① 入学金制度の一部見直し。 ② 各設置校とのチェックリストの共有と定期的な補助金情報収集・提供を徹底 ③ 「まっかさ応援募金」制度を開始
(2) 節減策 ① 組織の計画的・効率的配置 編成 ② 時間外勤務の削減 ③ 経費の節減	① 未実施 ② 設置校毎の働き方改革に向けてのワーキンググループが活動中 ③ 大学のキャンパス統合に関する協議継続中
(3) 業務の効率化 ・ 全教職員利用のグループウェアの導入計画を立案 ・ 予算執行申請方法の見直し ・ 人事記録のシステム化	・ 職員向けの導入実施 ・ グループウェアを活用した申請方法を検討中 ・ スケジュール化に至らず ・ 次年度より稼働を予定
(4) 中長期修繕計画の策定 ① 中長期修繕計画の策定	①設置校ごとの計画を立案中

2. 2018年度事業報告（幼稚園）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 教育内容の改革（教育の質の保証） ① 英語プログラムの充実 ② 運動能力・体力の向上 ③ 表現力・語彙力の向上 ④ しつけ教育の向上 ⑤ 食育活動の更なる充実 ⑥ 保育実践カリキュラムの研究 ⑦ 安全教育の充実（災害時に自ら避難行動が出来る）	① 外国人講師による英語指導を計画的に実施 ② 朝や昼の10分間「パワーアップタイム」を計画通りに実施 ③ 2学期の「縄跳」は大きな成果が出ているので、チャレンジシリーズとして継続 ④ 絵本の読み聞かせ年間目標150冊を全クラスで達成 ⑤ 挨拶指導の継続により、ほぼ全園児が実行 お箸、鉛筆、ハサミ検定の継続と改訂を実施 （ハサミについては高い習得率となった） ⑥ 「五感を刺激する」をテーマにした食育プログラムが更に充実 収穫体験を通じて、食物の知識を深めた ⑦ 脳科学から見る五領域（健康・環境・表現・ことば・人間関係）の研究の一環として、 「くぼたのうけん」の研修内容を保育・家庭での課題に活用 ⑧ 災害時に自ら避難行動が出来るようになる為に下記の訓練・点検を実施 ・避難訓練：年2回 ・防災訓練：年3回 ・園内の危険箇所の点検：年2回
(2) 園児支援改革（進路進学について） ① 内部進学率の向上 ② 併設校への内部進学体制に柔軟性を持たせる ③ 知育プログラム（課外教室）の導入 (3) 指導力向上の為の改革 ① 園内研修の充実 ② 教員の救命技能の向上	① 保護者との関係強化と小学校との連携強化に注力し、内部進学は昨年並みを維持 ② 現在の内部進学体制に対し、保護者の理解が深まる ③ 課外教室の体制が確立 ④ 今年度は専門講師による研修を2回実施 ⑤ 救命講習：8月に全員参加で実施
(4) 家庭との連携・子育て支援 ① 家庭の子育て力の向上 ② 満3歳児以下の子どもの受入れを検討	① 保護者の子育ての悩みや不安を軽減 ・ 適宜、個別に家庭との連絡・連携を実施（保護者から高い評価を得た） ・ 学院大学教員による講演実施 ② 検討継続

2. 2018年度事業報告（幼稚園）

2. 組織力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
1) 組織・運営基盤の改革 ① 教員の強化 【体験型プロジェクト保育とは】 就学までに必要とされる健康な心と体、自立心、協同性、道徳性、社会生活との関わり、思考力、自然との関わり、数量・図形・文字への関心、言葉による伝え合い、豊かな表現力を園児の主体的な活動と実体験において習得を目指すプログラム。 ② 勤務時間管理システムの導入 ③ 具体的教員構成と慢性的過重労働の回避	① 教員の強化を目的として、帝塚山幼稚園オリジナル「体験型プロジェクト」の構築を目指し推進中（園児の主体的活動を引き出す保育に注力） ② 法人本部と連携し、今年度より導入（質の確保、人材の確保と育成を継続） ③ 保育支援システム導入により一部軽減（法人本部と連携し、働き方改革に取組中）
（2）人事制度改革 ① 人事考課制度導入への検討 ② 自己点検シートの活用	① 目標管理シートの運用を開始し、園長と教員の目標管理が進展 ② 自己点検シートの改善と活用により各担任の項目別改善が可視化

2. 2018年度事業報告（幼稚園）

3. 財務基盤力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 安定的財政基盤の確立 ① 定員の確保 ② 特別協力金納付率の向上	① 年少入園者の定員を確保した ② 前年度と同水準
(2) 本園の教育に共感する家庭、園児の確保 ① どんぐりクラブ入会者確保 ② 改革内容の広報 ③ 未就園児対象イベントの見直しと充実 ④ 保護者アンケート（学校評価）満足度アップ ⑤ 保育環境の充実	① 目標を確保 ② リスティング広告、ディスプレイ広告、Youtube 広告に注力 ③ 園庭開放、幼稚園見学、入園体験など予定イベントはすべて計画通り実施 ④ 全項目で肯定的評価を維持 ⑤ 保育環境について維持・点検を計画通り実施
(3) 入試制度の検証・改善 ① 3年保育受験児の受験負担の軽減	① どんぐりクラブの周知により、受験負担を大幅に軽減
(4) キャンパスの整備 ① 老朽箇所改修	① 階段と壁、床の改修実施

3. 2018年度事業報告（小学校）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 教員の授業力の向上 ① 学力育成の達成目標、評価の方法、補習の方法等の具体化。 ・補習・TASCとの役割の整理。 ・協働学習の位置づけの明確化。 ② 新学習指導要領に基づくアクティブラーニングの創出と研修。 ③ 漢字検定の全員受験と、合格対策。 ④ シラバスの作成と教材の開発 ⑤ 教員の研修の継続実施 ・初任教員研修、全体研修の回数増。 ・学外研修への積極参加。 ⑥ 併設中学校の入試問題分析と結果の共有。 ⑦ 国語・算数の習熟度別・少人数授業の展開(5・6年)	① 学校だよりに、補習内容を毎月記載 ・補習はスローラナーに担任が実施、高学年TASCは受験を意識した準備として実施 ・各学年、教科指導内で実践 ② 教科研修(算数・社会)において協働学習を取り入れた実践研究を実施 ③ 2018年、漢字検定全員受験 ④ 2018年度の授業計画に従い、5月より指導計画、結果を集積中 ⑤ 初任教員研修5回、私小連主催研修5回、全体研修3回、教科研修15回、その他5回、ICT教育、プログラム教育等3回、および私小連全国大会参加 ⑥ 演習をテーマとした算数研修会を実施、演習中心の進学用授業を開始 ⑦ 習熟と別・少人数制授業を実施
(2) 学力と進路の保証。 ① 追試や、放課後補習の在り方を整理。目視化を実施。 ② 長期休暇中の補習実施 ③ 学力把握の為に外部模試実施と結果分析 ④ 早期の進路ガイダンス実施	(1) ①に同じ ② 5・6年生で夏期・冬期講習実施 ③ 育伸社・五ツ木駿々堂・全国学力調査の分析結果を共有 ④ 1・4・5・6年生以上に保護者対象の進路ガイダンスを実施 来年度から、進路相談室開室
(3) 英語教育の強化 ① 英語教育に関して達成目標と英語検定の受験対策の策定 ② 英語コミュニケーション能力育成の具体化 ③ ネイティブ常勤講師を活用した、英語授業の増加。	① 英検の準会場としての受験、受験前の英検対策を実施 ② 英語学力の数値化、英検5級全員合格を目標 ③ ネイティブ教員4名、日本人教諭3名により高学年の授業時間は1から3時間に増加

3. 2018年度事業報告（小学校）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(4)TSSとの連携 ・学院生と、外部生の優先順位・定員の整理と明確化。	・入学予定者への説明会・見学会実施
(5)生活指導の強化 ① 挨拶の徹底とマナー向上を重点的に指導 ② PTA 役員との連絡会を実施する。 ③ いじめ防止対策の強化。組織的対応ができる体制づくり。 ④ メンタルサポート会議を軸にした、児童情報の共有。	① ・全校朝礼を隔週から毎週に変更し、従来の月間目標に加え、年間を通じて指導 ・職員朝礼機能の強化 ② P T A 総会時の各委員会、他実行委員会等にて情報の共有 ③ Q－Uアンケートの研修会実施 ④ 学校生活支援会議として、定期的に実施
(6)TASC の見直し ① 指導方法確立の検討 ② 長期休暇中の実施。	① 新規スタッフ2名増員、塾指導・他校の校長経験者等、積極的に採用 ② 春14日・夏25日・冬4日間の、長期休暇中のTASCの実施
(7)ICT 教育の強化 ① ICT 教育の研修推進。 ② ICT教育のビジョン策定。	① 120 台の ipad の実践利用（主要4科・図工・情報にて使用） ② I C T 委員会にて、協働学習での活用と効果的な導入を検討
(8)同好会の検討 ① 学校評価アンケートから、ニーズや満足度の把握を行う。 ② 中・高連携の推進。	① 合唱同好会を再び開設、七夕祭り、音楽会、M I O で発表会を開催 ② 連携行事の実施（本年度は実施にいたらず）
(9)学校行事の見直し ① 各行事の不合理な慣習の改善と、教員の業務負担。 ② 宿泊行事の回数、実施時期の多角的検討。 ③ 行事の前後に、保護者へのアンケート調査を行う。	① 実務必携へ記載 ② 宿泊行事を改善（キャンプは5年生のみに） ③ アンケートの実施（今年度は不徹底）

3. 2018年度事業報告（小学校）

2. 組織力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 校務分掌の整備と事務局との連携 ① 管理職と教員との一体運営強化 ② 管理職・分掌部長の業務、組織のあり方、議論の進め方の周知 ③ 事務局との打ち合わせ会議を行う。 ④ 実務必携の作成。	① 働き方改革のあり方、組織整備等、職員朝礼・職員会議で適宜言及 ② 校長・教頭・分掌部長・学年主任が運営会議にて方策を決定(トップダウンの円滑化) ③ 必要に応じて開催(各学期3回程度) ④ 細部にわたる内容を含め作成中
(2) 学院幼稚園、学院中高、泉ヶ丘中高との校務運営の連携 ・幼小中高各部の現場教員が交流。情報交換の機会の設定。	・教科別懇親会の実施（1年担当教諭の幼稚園保育見学のみ実施）
(3) 児童情報に対する教員連携強化 ① siems への入力の徹底。 ② 学年主任会の活用	① 備考欄に生徒指導状況等の記入の促進（道徳英語の教科科に伴う、書式変更） ② 生徒指導・支援児童の様子を報告し、教員全体に共有
(4) 保護者との連携 ① 保護者への教育方針についての説明。 ② 学校評価アンケート、塾・習い事の調査を実施。結果を分析。	① 学年 PTA で学校方針、内部進学についての説明を実施 ② 学校評価アンケートの分析と、職員会議における報告
(5) 勤務時間管理の導入 ① 業務内容、負担について整理 ② 専科制の積極的な導入	① 業務内容を精査、会議を軽減 ② 体育科、社会科の専科制を来年度導入に向けて検討中
(6) 教員評価制度導入に向けた検討と運用開始 ・教員へ、学院の運営方針や共通認識の形成を図る。	① 校長による面談を適宜実施し、学院の運営方針について認識を共有。

3. 2018年度事業報告（小学校）

3. 財務基盤力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 定員の充足 ① 内部・外部志願者を、目標数値に向けて、定員充足を図る。 ② 説明会機会の増加。プレゼンテーションの完成度を高める。 ③ 教員の意識改革の推進。 ④ 学院HPの充実と、WEB広告の戦略的活用。	① 外部受験者について、ほぼ目標を達成 ② 12月の「学校説明会」を申し込み制に変更、塾、幼稚園での説明会、訪問会を増加 ③ 校長説論、入試広報部長も加えた情宣活動、教員の意識改革を実施 ④ 新たな取り組みを前面に押し出し、HPを改変
(2) 内部進学に関する情報提供の充実化。 ・進路ガイダンスの計画的実施	・進路ガイダンスを1・4・5・6年生に実施
(3) 外部資金の獲得 ・補助金申請の取り組み強化	・学校評価に関わる補助金増額見込み、IT教育設備の補助金獲得
(4) 経費削減 ・法人本部と協働し実施	・教育環境の改善について、本部の理解を得て計画的に推移

4. 2018年度事業報告（泉ヶ丘中学校高等学校）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 進路指導システムの確立 ① 進路指導部の組織強化 ② 管理職・進路指導部・高校学年団の連携強化 ③ 「進路の手引き」の改訂と活用 ④ 教職員対象進路指導研修会の実施 ⑤ 学生毎の学力把握の精度向上	①新進路指導部長を任命し、組織強化が進展 ②進路指導部が中心となり連携強化が進み、新テストに向け指導体制が充実 ③「進路の手引き」に成績情報を掲載し、生徒の活用度が向上 ④新テストに向けた外部研修結果を校内で共有 ⑤外部アセスメントを計画的に実施し、学年毎に推移を把握
(2) 大学入試制度改革への対策 ① 英語検定試験の学年別取得目標設定と対策講座実施 ② 英語学習環境を充実 ③ A L型授業の教員研修参加 ④ I C Tを活用した教育活動や家庭との連携の充実 ⑤ 生徒の学習進度に応じた決め細やかな指導の実施	①学校全体での受験を実施（学年別の目標を設定し、対策講座を実施） ②昨年度から開始したオンライン英会話の利用学生が増加 ③授業見学を実施 ④生徒用タブレット端末の利用推進中 「クラッシャー」を高2まで導入し、家庭との連携充実化 ⑤中学3年次における英語・数学のカリキュラム見直し
(3) 生徒指導向上 ① 正しい生活習慣の確立 ② 安心安全な学校生活の充実	①登下校指導、駅の巡回指導、服装指導を特に徹底 ②「ミマモルメ」を活用し登下校の完全管理を強化
(4) 家庭との連携・子育て支援 ① 家庭の子育て力の向上 ② 満3歳児以下の子どもの受入れを検討	①保護者の子育ての悩みや不安を軽減 ・適宜、個別に家庭との連絡・連携を実施（保護者から高い評価を得た） ・学院大学教員による講演実施 ②検討継続。

4. 2018年度事業報告（泉ヶ丘中学校高等学校）

2. 組織力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) ガバナンスの強化 ① 教員間共通認識の徹底 ② 組織と役割の明確化 ③ 勤務時間管理システムの導入 ④ 人事考課制度導入への検討と運用開始	①職員朝礼の定着化が進展。運営会議や管理職会議の機能が強化 ②担当管理職の明確化。中学部会議・高校部会議の機能が強化 ③今年度から導入。勤務実態の把握につながる ④教員面談（専任、常勤）を適時実施
(2) 組織力強化 ① 各会議の活性化と見直し ② 学校協議会の充実 ③ 若手教員の戦力化	①各会議、委員会を刷新し開催 ②年3回、外部有識者を招いて意見交換、提言を受ける。教職員への還元を実施 ③若手職員に対する研修を実施

4. 2018年度事業報告（泉ヶ丘中学校高等学校）

3. 財務力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 入学者確保 ① 入学者確保を達成 (中学校) (高等学校)	・地域別説明会の回数を増加。受験生・保護者に向けて丁寧な説明を繰り返し行った結果、レベルの高い生徒の確保に繋がった ・コース編成に関する広報活動を強化。併願受験生数が大幅に増加
(2) 外部資金確保 ① 教室のICT化に関連する補助金確保の検討 (3) キャンパス整備管理 ① 食堂の改修	①CALL 教室に生徒用タブレットを設置 ①食堂を一部改修

5. 2018年度事業報告（中学校高等学校）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 生徒学力の向上 ① 外部模試を活用した計画的学力向上 ② 英語資格検定プログラムを導入し、関学コースの英検2級以上の合格率向上 ③ コース毎に必要なとされる高い教育力・授業力を実現するための教員研修を実施 ④ 生徒の多様な希望に応じたきめ細かい進路指導体制の構築 ⑤ 基本的な生活習慣を確立し、中高の内部進学率を向上	① 実施した外部模試について、順調な学力向上が認められる。 ② 英検2級取得率は前年を上回る実績となり、関学コースの目標達成。 ③ 各学期にアクティブラーニング授業研究を実施。 ALの専門家を招いた研修会、外部セミナーに教員を派遣するなど、校内での研究を一段と深めた。 ④ 大学入試改革が進む中、変転する推薦入試・AO入試の方式を研究し、生徒の特性に応じた進路指導を担当・進路指導部・各委員会が連携して実施。 その結果、公募制推薦の出願・合格が増加傾向にある。また、各教科や各コース・専攻において外部コンテストで受賞、クラブ活動でも全国区の活躍があった。 ⑤ 「ベル席運動」の活性化に努めており、メリハリのある授業の開始を促進している。 マナー講習やDLS講習を行い、生徒各人の規範意識を高めた。カウンセラー室との連携を強化し、教員間の生徒情報が共有を持続。
(2) 学習環境の増強 ① 英語教育のさらなる充実を図り、オールイングリッシュの環境を整備 ② ラーニングコモンズを導入し、ICTを利用した個別学習の機会を拡大	① 放課後にネイティブが常駐するグローバルラウンジを設置。 ② 生徒向けノートパソコンと無線LANを配備。

5. 2018年度事業報告（中学校高等学校）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(3) 指導体制の充実 ① エンロールマネジメントの導入 ② 進路分析会を実施し、模試成績による現状把握と教員間の目標の共有化 ③ シラバス見直しを行い、コース・学年の資格取得や模試偏差値に目標設定	① 昨年度導入した新教務システムに関して、より実情に適した微調整を順次展開中 ② 模試分析報告会を中1から高2までの学年で各学期に行った 高3は学期ごとに教科担当とクラス担任が生徒の成績を個別に検討 エンロールマネジメント委員会は職員会議での分析報告を適時実施 ③ 次期学習指導要領の改訂（2021年度中学から）に向けて、カリキュラム改訂の準備を進めて素案作成

5. 2018年度事業報告（中学校高等学校）

2. 組織力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) ガバナンスの強化 ① 勤務時間管理システムの導入 ② 人事考課制度導入への検討と運用開始	① 2018年度から勤務時間管理を実施 ② 働き方改革のワーキンググループでの議論を踏まえて、仕組み作りの準備中
(2) 教職協働による組織風土の改革 ① アドミッションセンターとの連携を強化し、データ分析の精度向上 ② 事務機能を強化し、教職協働を促進	① Web出願システム上でのアンケート集計の方法についての改善を継続中 ② 2年前から実施している教頭・事務局との週1回の定例会議を持続。学校業務に係る議題を多岐に渡り共有・議論した。事務局応接室の改装実施
(3) 教育環境の整備 ① 生徒数に対して適正な教室数の確保 ② 生徒数に対して専任教員および常勤講師数の確保	① 図書室周辺の改装により、特別教室の不足は解消方向。改装した自習室の利用は増加傾向 ② クラス数にあわせた専任・常勤講師数を確保

5. 2018年度事業報告（中学校高等学校）

3. 財務基盤力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 募集強化による予算基盤の安定 ① 中学での入試行事参加6年生からの実出願年率の着実な上昇 ② 高校での入試行事参加者を維持し、専願者数の大幅な上昇	① アドミッションとの連携の下、入試行事アンケートの内容を精査し、保護者と受験生の満足度や進路希望を把握することが実出願年率の上昇に繋がった ② 渉外活動を戦略的に見直し、広報活動を積極的に行った
(2) 入試改革による募集力の強化 ① 新しい入試方式の導入を検討	① 市場動向の分析と大学入試改革の研究を行い、新しい入試制度導入が可能かを検討している。高校美術系専攻にて学力型入試を導入
(3) 外部資金の獲得 ① 大阪府や文科学等の競争的補助金の獲得	① 私立高等学校等IT教育設備整備推進事業での補助金獲得

6. 2018年度事業報告（大学）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(学生面倒見の良さ NO.1) ①学生の能力に応じた入学前教育の実施 ・「テヅカドリル」の実施率向上。 ・「学ぶカリサーチ」過年度データ検証し次年度計画へ。 ②学生の授業出欠管理の徹底 ・C-learningでの出欠管理の徹底。専任教員の利用促進。出欠の集計を本人・保護者へ通知。 ③基礎学力の強化と検証	① ・使用促進メールを複数回配信（受講者率・全科目修了者の増加に寄与） ・「学ぶカリサーチ」分析報告会を実施（入学後の指導方法やサポート体制向上） ② ・C-learning利用率を教員のログイン履歴から状況把握し利用を徹底、教員向けに使用説明書の再配布（専任はほぼ全員利用、非常勤講師への利用徹底が必要） ③教育強化プロジェクトの答申内容を反映した新共通教育カリキュラムの運用2年目 ・具体的には、基礎教育の4領域(日本語、英語、ICT、数学)とキャリア形成領域に焦点をあてたカリキュラムとし、能力別クラス編成できめ細かい指導を実施 ・2017年度に新設した「基礎演習」では、アドバイザー教員が学修基礎力の形成を行っており、2年目の今年度で全科目を開講。到達目標・評価方法を全学統一 ・1年生7月、12月に英語アセスメントテスト、2年生1月にTOEIC Bridgeを実施 ・共通必修科目についてはシラバス内容の統一、成績評価基準の申し合わせなど到達度をより明確化 ・授業手法の強化のために、シラバス作成に関する専任向けFD（11月）、非常勤講師向け説明会（12月）を実施 ④正規授業における担任制導入の2年目 ・担当授業に加えて、個人面談、授業出席状況・成績指導、保護者対応を適時実施 ⑤前年度から教員が担当学生の情報閲覧と面談内容記録が可能となり、学内での情報共有が一段と進展
④担任制(役割と責任の明確化)の導入 ⑤就職支援 NAVI の活用(学生ポートフォリオの活用)	

6. 2018年度事業報告（大学）

1. 教育力の強化	実施目標・計画	具体的取組
		⑥食堂、図書館の改善。 ⑦客員教授等外部力を活用する。 ⑧学生ニーズ等の情報収集・分析システムの構築 ⑨部活動等の活性化。 ⑩学部・学科の再編の検討 ⑪退学者率の改善 ⑫実質就職率（進学者を除く）の向上 ⑬地域連携事業の強化
		⑥食堂は2017年度より大学直営化、利用者アンケートを実施し、メニューの多様化と美味しさに取組中 図書館は2019年4月に業務委託に移行 ⑦俳人の夏井いつき氏を客員教授として迎え、正規授業を公開講座としても開講 ⑧教学IR推進委員会を新設 ・HPの情報公開ページに教学IR情報を掲載、FD・SD研修会も実施 ⑨次年度より創設する強化クラブの準備 ⑩2020年度に学部学科再編を実施予定 ⑪入学後1年以内の退学者率（2018年度生） リベラルアーツ学部…前年度比 やや改善 人間科学部…わずかながら悪化 ⑫実就職率は前年度比、やや改善 ・前年度から、キャリアセンターによる学生の就活行動状況と人物評価を組み合わせたカテゴリーを活用して、変化する全体状況を適時把握可能となり、学生一人一人へのきめ細かい対応を持続、また、就職支援NAVIを使った教員との連携強化を通じて迅速な学生対応が進展中 ⑬堺市、大阪狭山市それぞれと包括連携協定を締結 ○リベラルアーツ学科 ・大阪狭山市の市民公益推進委員会へ委員参加 ・堺市博物館との連携 ○キャリア英語学科 ・大阪狭山市の成人大学講座を実施 ○情報メディア学科 ・地域、小学校、教員向けプログラミング研修の実施 ・スウィーツ心理学®プロジェクトの協力 ・「加太宇宙イベント」ロケット打ち上げのインターネット中継、Web・SNSでの広報 ・奈良県三郷町「2018年度ICTクラブ事業に係わるICTキホン講座講演」に協力 ○心理学科 ・スウィーツ心理学®プロジェクトでは和菓子メーカーとのコラボイベント開催 ○食物栄養学科 ・スウィーツ心理学®プロジェクトでは各イベント向けのスイーツを開発・販売 ・オックス球団、堺市、JA堺、日本赤十字社との連携事業を推進

6. 2018年度事業報告（大学）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(2) 教育の質保証 ① 教員評価の実施（2年目） ② FD研修会の内容を明記して定期的に実施 ③ 教員相互の授業参観の実施	①2017年度評価についての評価手続きを改善（評価項目の整合性、信頼性が向上） ②FD・SD研修会の実施 ・全学研修会 7回、各学科研修会 22回、各部主催研修会 10回を実施 全学研修会 5月 2日 事業方針発表会 5月 16日 学ぶ力リサーチ報告会 7月 25日 ICT活用と情報教育 10月 10日 今後のキャリア教育において求められる、教養教育・専門教育とは 10月 24・29日 私学事業団による本学分析資料説明会 2月 13日 早稲田大学アカデミック・ライティング・プログラムの紹介 ー初年次向け授業とライティングセンターでの取り組みについてー ③情報メディア学科教員によるFD研修会を実施

6. 2018年度事業報告（大学）

2. 組織力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
（1）ガバナンスの強化 ①広報組織の強化 ②組織における権限と責任の明確化 ④ 学長室が統括する各プロジェクトの実施 ④中期経営計画に従い、各年の目標を検証し、全教職員で意識共有。 ⑤ IR 担当組織およびエンロールマネジメント体制の確立	①学長室広報課を新設、大学広報と並立化 ②各種会議体を整理し、執行部主導で各委員を選定 ③大学改革に備え、学院改革会議・大学部会の元に大学改革コアメンバー会議新設・大学改革専門グループとして、教員組織再編プロジェクト、教育課程再編プロジェクト、ニューキャンパス構想検討会議を新設 ④改革基本計画について教職員全体説明会を実施 (情報共有ツールとしてグループウェアも活用) ⑥ 教学 IR 推進委員会を新設（委員会4回開催）
（2）大学事務組織の見直し ①Students First の大学づくりを目指した組織改編の実行と検証。 ② SD 研修会の内容を明記して定期的に実施。	①新事務局長就任と学長補佐の新設 ②全学研修会は2テーマ2回、各学部主催研修会は8テーマ10回を実施

6. 2018年度事業報告（大学）

3. 財務基盤力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
（1）入学定員100%確保 ① 入学者データの分析、検証。	①期初にKPI指標設定し、学生募集委員会にて周知 ・推薦入試前半時点でPDCAにて修正目標値を設定
②入学者数460名を確保	②全学部の入学者…昨年度比、約30%増 全学科定員充足⇒全学科課程定員充足達成 （アドミッション体制の組織変更、強化）
③オープンキャンパス参加人数増加	③参加者数は昨年度比で約20%増
④高校訪問体制の改善。	④目標人数設定高校のうち目標達成高校数は約半数
⑤ 入試方法の改革	⑤A0入試を3タイプへ（一般入試に日本史を追加）
（2）外部資金の獲得	・私立大学教育研究活性化設備整備補助金タイプ1に選定 ・科学研究費獲得のための説明会を2回開催
（3）人件費の抑制	・2019年度に向け、2018年度開講科目の受講者数・クラス数・時間割配置等を検証
（4）物件費の削減	・予算管理の徹底については、当初計画をほぼ達成

7. 2018年度事業報告（大学院）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) Students First の大学づくり (学生面倒見の良さ NO.1) ① 大学院独自のディベロップメントアンケート、修了時アンケート、学生満足度調査、学生による授業評価アンケート等による課題を教職員で共有し、改善にむけて対応する。 ② 臨床心理学専攻（専門職学位課程）については、専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣の指定を受けるように申請し、社会人学生に対するキャリアアップの推進、授業料負担を支援する。 ③ 就職率、常勤採用者が増加するように努める ④ 地域連携事業の強化 ⑤ 大学院独自の奨学金制度の導入 ⑥ 公認心理師国家試験への対応	① 改善項目を専攻会議で検討し、次年度にむけて対応 ・心理教育相談センター内の備品等の整備を実施 ・学生満足度調査で指摘のある図書館の開館時間延長については未実施 ② 本学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻が、専門実践教育訓練講座の指定獲得社会人学生の負担軽減 ③ 1名を除き臨床心理専門職として就職 (常勤採用者は昨年同様少なく、引き続き改善策を検討中) ④ 地域連携事業の強化 ・心理教育相談センターでの取り組みを地域市民に広報対応し、利用者増加 【平成29年度比、約20%増】…成人、児童を含む】 ・発達の問題を抱える児童・園児に対する支援や、児童・園児を指導する教員、保育士に対する研修会等を実施し、心理教育相談センターの利用者増加 ⑤ 在学生成績優秀者のための大学院独自の奨学金制度を導入、給付実施 ⑥ 第1回公認心理師国家試験受験を希望する修了生に対して、読み替え科目証明書を発行 受験結果は、全国平均の合格率…79.1%を上回る合格率を達成

7. 2018年度事業報告（大学院）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(2) 教育の質保証 ① 教員評価の実施 ② FD研修会の定期的な実施	① 平成31年度の新教員評価試行に向けて検討し、適切な評価実施に向けて改善中 ② 下記のとおり、大学全体として実施 ・「2021年度入試改革に向けて～今、本学がしなければならないこと」 ・「ICT活用と情報教育」 ・「今後のキャリア教育において求められる、共用教育・専門教育とは」 ・「アメリカのリベラルアーツを中心とする学士課程教育の最近の動向」 ・「小規模地方女子大学での経験とハンズオンニング・プログラム」 ・「歴史から見た我が国私学の大学経営～教育と財務の相剋～」 大学院としては、臨床心理学専攻のFD研修会として ・「臨床心理専門職大学院教育再考」 公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会 専務理事 藤原 勝紀 氏

2018年度事業報告（ 大学院 ）

3. 財務基盤力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 入学定員 100%確保 ① 入学者データの分析、検証。	① 専攻毎に定員確保を目指す 【臨床心理学専攻】 臨床心理士に加えて、公認心理師受験資格を取得できる教育課程を設置し、広報対応 平成 31 年 4 月 入学生より、特待生制度を導入（大学院 I 期入試：対象者あり）
(2) 外部資金の獲得	平成 30 年度は、外部資金の獲得はないが、平成 31 年度に向けて計画 （なお、私学事業団からの特別補助金の交付あり）
(3) 人件費の抑制	平成 30 年度に専門職大学院設置基準の改正が実施され、設置基準数を超えた教員数については、学部との兼任者数を活用できるようになり、多少だが人件費を抑制 （実務家教員の規程改訂）
(4) 物件費の削減	・物件費等の削減できず

8. 2018年度学生異動及び卒業生の進路

帝塚山学院幼稚園 入試・在園・退園・進学状況

【入試状況】

平成	年少（3年保育）			定員充足率 %	募集定員	年中（2年保育）			年長（1年保育）		
	志願者数	合格者数	入学者数			志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
2015年度	44【2】	42【1】	41【1】	85.4	48	5	5	5	2	2	2
2016年度	48【4】	48【4】	45【4】	93.7	48	2	2	2	3	3	3
2017年度	43【5】	43【3】	41【3】	85.4	48	7【2】	7【2】	5【2】	2【2】	2【2】	2【2】
2018年度	60【2】	52【2】	50【2】	104.2	48	3【1】	3【1】	3【1】	1【1】	1【1】	1【1】
2019年度	60	50	50	104.2	48	7【1】	6【1】	6【1】	2【1】	2【1】	2【1】

【 】は2,3月入試者数、内数。

【在園状況】

平成	年少			年中			年長			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
2015年度	13	28	41	16	35	51	18	37	55	47	100	147
2016年度	12	32	44	13	30	43	16	37	53	41	99	140
2017年度	15	26	41	13	34	47	14	34	48	42	94	136
2018年度	19	31	50	16	29	45	12	35	47	47	95	142
2019年度	14	36	50	21	32	53	17	31	48	52	99	151

【退園状況】

平成	異 動 理 由	人 数
2014年度	1. 一身上の理由	2
	2. 住所変更	0
2015年度	1. 一身上の理由	1
	2. 住所変更	1
2016年度	1. 一身上の理由	0
	2. 住所変更	1
2017年度	1. 一身上の理由	1
	2. 住所変更	1
2018年度	1. 一身上の理由	4
	2. 住所変更	

【進学状況】2018年度卒園生

進 学 先		人 数	
私立小学校		男子	女子 計
私立小学校	帝塚山学院	8	31
	洛南		1
	追手門学院	1	1
	初芝学園	1	1
国公立小学校		2	3
総 計		12	35
			47

【入試状況】

平成	新 1 年										募集定員	定員充足率 %
	志願者			合格者			入学者					
	内部	外部	計	内部	外部	計	内部	外部	計			
2014年度	50	96	146	50	70	120	49	65	114	114	100.0	
2015年度	43	90	133	43	81	124	43	69	112	114	98.2	
2016年度	49	84	133	49	81	130	48	69	117	114	102.6	
2017年度	44	80	124	44	76	120	44	64	108	114	94.7	
2018年度	42	75	117	41	72	113	40	66	106	114	93.0	
2019年度	39	89	128	39	81	120	39	76	115	114	100.9	

【在籍状況】

平成	1年			2年			3年			4年			5年			6年			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
2014年度	36	78	114	34	82	116	25	85	110	31	83	114	35	79	114	32	79	111	193	486	679
2015年度	29	83	112	36	77	113	34	80	114	26	86	112	31	82	113	35	78	113	191	486	677
2016年度	44	72	116	30	83	113	36	76	112	34	80	114	27	87	114	30	82	112	201	480	681
2017年度	26	82	108	44	72	116	29	83	112	37	75	112	34	80	114	27	84	111	197	476	673
2018年度	41	65	106	29	83	112	44	72	116	28	85	113	37	79	116	34	79	113	213	463	676
2019年度	35	80	115	41	66	107	28	82	110	44	72	116	27	86	113	37	78	115	212	464	676

【転学状況】

平成	異 動 理 由		人 数	
2013年度	1. 一身上の理由		7	
	2. 留学		0	11
	3. 住所変更		4	
2014年度	1. 一身上の理由		5	
	2. 留学		0	5
	3. 住所変更		0	
2015年度	1. 一身上の理由		1	
	2. 留学		0	4
	3. 住所変更		3	
2016年度	1. 一身上の理由		1	
	2. 留学		0	7
	3. 住所変更		6	
2017年度	1. 一身上の理由		4	
	2. 留学		0	4
	3. 住所変更		0	
2018年度	1. 一身上の理由		6	
	2. 留学		0	9
	3. 住所変更		3	

【進学状況】2018年度卒業生

進 学 先	人 数	
	男子	女子 計
私立中学校		
帝塚山学院	0	49 49
帝塚山学院泉ヶ丘	6	7 13
学院小計	6	56 62

私立中学校	星光	1		1
	清風南海	2	2	4
	清風	5		5
	西大和	2		2
	明星	1		1
	上宮	1		1
	賢明学院	1		1
	初芝立命館	1		1
	履正社	1		1
	近大		1	1
	開明	1		1
	関西大倉		1	1
	関大北陽		1	1
	浪速	1		
	清教	1		
	四天王寺		6	6
	大阪女学院		2	2
	大谷		2	2
	桃山	1		1
	香里ヌヴェール		1	1
	同志社香里	1		1
	同志社女子		3	3
	金蘭千里		1	1
	大阪桐蔭	1	1	2
	甲南	3		3
	函館ラサール	1		1
学院外 私立小計		25	21	44

私学合計	31	77	108
------	----	----	-----

進 学 先	人 数	
	男子	女子 計
公立中学校	1	1 2
その他学校・留学		
大教大付属平野	2	
公立中学校・その他学校合計	3	1 4

総 計	34	78	112
-----	----	----	-----

帝塚山学院泉ヶ丘中学校 入試・在籍・退学・進学状況

1) 入試状況

	新 1 年			入学定員	定員充足率
	志願者	合格者	入学者		
2014年度	678	534	196	160	122.5%
2015年度	595	518	164	160	102.5%
2016年度	658	560	173	160	108.1%
2017年度	850	609	191	160	119.4%
2018年度	839	581	173	140	123.6%
2019年度	810	503	155	140	110.7%

2) 在籍者数

		1年	2年	3年	計
		男	女	計	計
2014年度	男	71	88	82	241
	女	125	126	118	369
	計	196	214	200	610
2015年度	男	64	69	87	220
	女	100	123	125	348
	計	164	192	212	568
2016年度	男	61	64	69	194
	女	112	100	121	333
	計	173	164	190	527
2017年度	男	76	61	63	200
	女	115	112	99	326
	計	191	173	162	526
2018年度	男	77	75	61	213
	女	96	115	111	322
	計	173	190	172	535
2019年度	男	57	77	73	207
	女	98	96	115	309
	計	155	173	188	516

3) 転学者数

	異動理由	計	
		1. 一身上の理由	2. 進路変更
2013年度	1. 一身上の理由	4名	4名
	2. 進路変更	0名	0名
2014年度	1. 一身上の理由	5名	6名
	2. 進路変更	1名	1名
2015年度	1. 一身上の理由	5名	5名
	2. 進路変更	0名	0名
2016年度	1. 一身上の理由	2名	2名
	2. 進路変更	0名	0名
2017年度	1. 一身上の理由	1名	2名
	2. 進路変更	1名	1名
2018年度	1. 一身上の理由	1名	2名
	2. 進路変更	1名	1名

4) 進学先

1. 帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	165
2. その他	6
3. 中学浪人	0
4. 海外留学	1

1) 入試状況

	新 1 年									入学定員	定員充足率
	志願者			合格者			入学者				
	内部	外部	計	内部	外部	計	内部	外部	計		
2014年度	167	223	390	167	216	383	167	80	247		102.9%
2015年度	188	228	416	188	218	406	188	69	257	240	107.1%
2016年度	204	235	439	204	232	436	204	73	277	240	115.4%
2017年度	181	361	542	181	354	535	181	130	311	260	119.6%
2018年度	157	384	541	157	381	538	157	142	299	260	115.0%
2019年度	165	492	657	165	484	649	165	123	288	280	102.9%

2) 在籍者数

	1年				2年				3年				計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
2014年度	99	145	244	114	127	241	148	120	268	113	103	216	361
2015年度	150	258	408	143	239	382	127	240	367	127	150	277	392
2016年度	125	153	278	105	150	255	96	143	239	96	120	216	326
2017年度	139	172	311	123	149	272	103	150	253	103	148	251	326
2018年度	161	311	472	165	272	437	148	253	401	148	161	309	446
2019年度	299	114	413	304	135	439	268	136	404	268	161	429	881

3) 転退学者数

	異動理由		計
	1. 一身上の理由	2. 進路変更	
2013年度	7名	3名	10名
2014年度	6名	4名	10名
2015年度	3名	2名	5名
2016年度	3名	6名	9名
2017年度	4名	7名	11名
2018年度	4名	6名	10名

2019年度
帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 大学合格状況
卒業生268名

4月8日判明分

国公立大学 計 104名 (29名)

国立大学	合格者数
京都	1 (1)
大阪	8 (0)
神戸	4 (1)
名古屋	1 (0)
東京工業	1 (0)
富山	1 (1)
福井	1 (0)
信州	3 (1)
名古屋工業	1 (1)
三重	1 (1)
滋賀	1 (0)
京都工芸繊維	3 (0)
大阪教育	5 (2)
奈良教育	2 (1)
奈良女子	2 (1)
和歌山	14 (4)
鳥取	1 (0)
島根	4 (0)
山口	1 (0)
香川	1 (0)
愛媛	2 (1)
佐賀	1 (1)
宮崎	1 (0)
琉球	1 (1)
公立大学	合格者数
大阪府立	10 (4)
大阪市立	7 (0)
はこだて未来	1 (1)
国際教養	1 (0)
埼玉県立	1 (1)
首都大学東京	1 (0)
横浜市立	1 (0)
長岡造形	1 (0)
富山県立	1 (0)
金沢美術工芸	3 (0)
滋賀県立	1 (0)
京都市立芸術	2 (2)
兵庫県立	1 (0)
奈良県立医科	2 (0)
奈良県立	1 (0)
鳥取環境	1 (0)
岡山県立	2 (2)
県立広島	1 (0)
広島市立	1 (1)
山口東京理科	1 (0)
高知工科	2 (1)
九州歯科	1 (0)

私立大学

大学名	合格者数
早稲田	2 (1)
慶應義塾	3 (0)
中央	5 (0)
立教	3 (1)
法政	3 (1)
青山学院	1 (1)
東京理科	2 (2)
同志社	28 (3)
立命館	31 (3)
関西学院	33 (6)
関西	65 (16)

医学部医学科 計 17名 (15名)

大学名	合格者数
三重	1 (1)
近畿	2 (1)
大阪医科	3 (2)
関西医科	1 (1)
兵庫医科	1 (1)
川崎医科	1 (1)
愛知医科	1 (1)
藤田医科	3 (3)
岩手医科	1 (1)
東北医科薬科	1 (1)
帝京	1 (1)
久留米	1 (1)

薬学部 計 114名 (6名)

大学名	合格者数
山口東京理科	1 (0)
慶應義塾	1 (0)
立命館	3 (1)
近畿	30 (1)
京都薬科	2 (0)
大阪薬科	6 (0)
神戸薬科	9 (1)
星薬科	1 (0)
同志社女子	7 (0)
武庫川女子	39 (0)
大阪大谷	4 (1)
摂南	9 (2)
神戸学院	2 (0)

獣医学部 計 3名 (1名)

大学名	合格者数
大阪府立	1 (1)
岡山理科	2 (0)

*合格者数は延べ人数です。()内は過年度生。

帝塚山学院中学校 入試・在籍・退学・進学状況

【入試状況】

平成	新1年										募集定員	定員充足率 %
	志願者			合格者			入学者					
	内部	外部	計	内部	外部	計	内部	外部	計			
2015年度	48	863	911	48	785	833	48	210	258	210	122.9	
2016年度	44	856	900	44	777	821	44	206	250	210	119.0	
2017年度	38	922	960	38	833	871	38	187	225	200	112.5	
2018年度	54	972	1026	54	821	875	54	189	243	180	135.0	
2019年度	49	1325	1374	49	1006	1055	49	229	278	180	154.4	

【在籍状況】

平成	1年		2年		3年		合 計
	女	子	女	子	女	子	
2015年度		258		229		230	717
2016年度		250		256		228	734
2017年度		225		245		253	723
2018年度		243		222		240	705
2019年度		278		239		214	731

【転学状況】

平成	異 動 理 由		人 数	
2014年度	1. 一身上の理由		3	
	2. 進路変更		1	4
	3. 住所変更		0	
2015年度	1. 一身上の理由		1	
	2. 進路変更		3	4
	3. 住所変更		0	
2016年度	1. 一身上の理由		4	
	2. 進路変更		3	9
	3. その他		2	
2017年度	1. 一身上の理由		2	
	2. 進路変更		6	8
	3. その他		0	
2018年度	1. 一身上の理由		4	
	2. 進路変更		9	13
	3. その他		0	

【進学状況】30年度卒業生

進 学 先		人 数	
			女子
私立高等学校	帝塚山学院		231
	近畿大学附属高等学校高等学校		1
	大阪成蹊女子高等学校高等学校		1
	天王寺学園高等学校高等学校		1
	近畿大学泉州高等学校高等学校		1
	和歌山信愛高等学校高等学校		1
	代々木アニメーション学院高等部高等学校		2
	小 計		238
公立高等学校			0
留 学			0
その他			1
総 計			239

【入試状況】

平成	新1年								募集定員	定員充足率 %	
	志願者			合格者			入学者				
	内部	外部	計	内部	外部	計	内部	外部			計
2015年度	221	69	290	220	67	287	218	50	268	240	111.7
2016年度	223	50	273	223	49	272	223	29	252	240	105.0
2017年度	212	57	269	212	57	269	212	41	253	240	105.4
2018年度	243	36	279	243	36	279	243	27	270	240	112.5
2019年度	231	37	268	231	37	268	231	31	262	240	109.2

【在籍状況】

平成	1年		2年		3年		合 計
	女	子	女	子	女	子	
2015年度	266	【1】	223	【1】	237		726
2016年度	252		258		220		730
2017年度	253		246	【1】	254		753
2018年度	271	【1】	244		241		756
2019年度	264		259		237		760

【 】は留年者数、内数。

【転退学状況】

平成	異 動 理 由		人 数	
2014年度	1. 一身上の理由		1	
	2. 進路変更		9	11
	3. その他		1	
2015年度	1. 一身上の理由		8	
	2. 進路変更		5	14
	3. その他		1	
2016年度	1. 一身上の理由		1	
	2. 進路変更		9	10
	3. その他		0	
2017年度	1. 一身上の理由		2	
	2. 進路変更		11	13
	3. その他		0	
2018年度	1. 一身上の理由		3	
	2. 進路変更		14	17
	3. その他		0	

進 学 先			進 学 先		
	現役	既卒	合計		合計
大学					
帝塚山学院	11		11	短大	1
大阪教育	1		1	大阪国際短期	1
慶応義塾		1	1	大阪音楽短期	1
立教	1		1	大阪キリスト教短期	2
桜美林	1		1	武庫川女子短期	2
東京女子体育	1		1	常磐会短期	3
関西学院	122		122	四天王寺短期	1
関西	6	1	7	大阪芸術短期	1
同志社	1	1	2	小計	10
立命館	1		1	大阪医療技術学園	1
近畿	3		3	グラムール美容	1
神戸学院	3		3	近畿附属看護	1
大阪音楽	3	1	4	駿台観光&ビジネス	1
大阪芸術	4		4	その他	9
京都精華	1		1	小計	13
京都造形芸術	4		4	合 計	227
神戸芸術工科	1		1	留 学 そ の 他	3
成安造形	2		2	進 学 準 備	11
京都女子	1		1	総 計	241
甲南女子	4		4		7
神戸松蔭女子学院	4	1	5		234
神戸女学院	4	1	5		3
神戸女子	1		1		11
園田学園女子	1		1		11
同志社女子	3		3		248
藍野	1		1		
大阪青山	2		2		
大阪学院	1		1		
大阪歯科	1		1		
大阪成蹊	1		1		
大阪体育	1		1		
大阪人間科学	1		1		
大手前	1		1		
関西外国語	3		3		
関西国際	1		1		
関西福祉	1		1		
帝塚山	5		5		
日本獣医生命科学	1		1		
小計	204	6	210		

帝塚山学院大学リベラルアーツ学部 入試・在籍・退学・進路状況

【入試状況報告】

入試の種類		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
推薦入試	指定校推薦 (二次・S・後期S含む)	募集定員	25	20	20	40	25	
		受験者	10	10	9	5	10	16
	協定・特別推薦 (二次・後期S含む)	合格者	10	10	9	5	10	16
		入学者	10	10	9	5	10	16
	内部推薦(住吉・泉ヶ丘) (二次・後期S含む)	募集定員	0	0	0	0	0	0
		受験者	45	24	30	21	24	37
	公募制推薦(専願・併願)	合格者	45	24	30	21	24	37
		入学者	45	24	28	20	24	37
	AO・ファミリー	募集定員	0	0	0	0	0	0
		受験者	2	5	3	2	1	0
一般・センター	推薦計	合格者	2	5	3	2	1	0
		入学者	2	5	3	2	1	0
	一般入試(センター含む)	募集定員	55	45	45	45	40	35
		受験者	22	30	23	18	65	206
	その他(社会人・帰国生)	合格者	21	26	19	17	56	169
		入学者	10	11	9	9	13	34
	一般計	募集定員	10	8	8	7	15	15
		受験者	14	13	15	12	15	57
	合計	合格者	13	11	15	12	15	50
		入学者	13	11	15	12	14	46
定員充足率	推薦計	募集定員	90	73	73	72	95	75
		受験者	93	82	80	58	115	316
	一般入試(センター含む)	合格者	91	76	76	57	106	272
		入学者	80	61	64	48	62	133
	その他(社会人・帰国生)	募集定員	70	57	57	58	35	45
		受験者	50	33	41	40	148	430
	一般計	合格者	49	30	31	35	123	85
		入学者	13	11	16	18	34	16
	合計	募集定員	0	0	0	0	0	0
		受験者	1	0	0	0	1	0
定員充足率	推薦計	合格者	1	0	0	0	1	0
		入学者	1	0	0	0	0	0
	一般入試(センター含む)	募集定員	70	57	57	58	35	45
		受験者	51	33	41	40	149	430
	その他(社会人・帰国生)	合格者	50	30	31	35	124	85
		入学者	14	11	16	18	34	16
	一般計	募集定員	160	130	130	130	120	120
		受験者	144	115	121	98	264	746
	合計	合格者	141	106	107	92	230	357
		入学者	94	72	80	66	96	149
定員充足率		58.8%	55.4%	61.5%	50.8%	73.8%	124.2%	

【大学リベラルアーツ学部 在籍者・退学状況】

在学者数(2019年4月1日現在)

	文学部						リベラルアーツ学部												リベラル アーツ学部 前年度比増減	募集定員	募集定員比 増減						
	2014年度			2015年度			2014年度			2015年度			2016年度			2017年度						2018年度			2019年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				男	女	計	男	女	計
1年							52	41	93	30	44	74	25	55	80	26	40	66	39	57	96	27	122	149	29		
2年							52	54	106	44	40	84	26	41	67	23	49	72	23	35	58	38	51	89	△ 41		
3年							58	67	125	47	55	102	36	40	76	23	37	60	21	44	65	18	36	54	△ 76		
4年以上	1	0	1	1	0	1	76	59	135	71	75	146	55	59	114	47	47	94	30	40	70	23	48	71	△ 59		
計	1	0	1	1	0	1	238	221	459	192	214	406	142	195	337	119	173	292	113	176	289	106	257	363	△ 147		

退学者数

移動理由	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
一身上の都合	26	25	18	16	10
進路変更	6	12	14	14	11
計	32	37	32	30	21

※平成27年度より、4/1～3/31開催教授会で承認分

【入試状況報告】

十令

【大学人間科学部 在籍者・退学状況】

在学者数(2019年4月1日現在)

	文化学科										情報メディア学科										情報メディア学科前年度比増減	募集定員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	2014年度					2015年度					2016年度					2017年度							2018年度					2019年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計			男		女		計	男		女		計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女			計	男	女	計	男	女	計	男	女	計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		</

	人間学科										心理学科										人間学科＋心理学科 前年度比増減	募集定員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度				2018年度		2019年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			男	女	男	女																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計			計	計	計	計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

	食物栄養学科										食物栄養学科										食物栄養学科前年度 比増減	募集定員													
	2014年度			2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度																			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計																	
1年																17	118	135	17	121	138	16	132	148	15	97	112	11	93	104	19	106	125	31	120
2年																4	84	88	17	117	134	17	118	135	16	129	145	13	96	109	9	92	101	△	120
3年																5	77	82	4	80	84	17	115	132	17	113	130	16	127	143	13	94	107	4	120
4年以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	84	92	5	78	83	3	79	82	15	116	131	19	116	135	17	130	147	7	120
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	363	397	43	396	439	53	444	497	63	455	518	59	432	491	58	422	480	41	480

	キャリア英語学科																								キャリア英語学科前年度比増減	募集定員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	2014年度				2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	男		女		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

	人間文化学部																		人間科学部																		人間文化学部＋人間科学部前年度比増減	募集定員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	2014年度						2015年度						2016年度						2017年度						2018年度						2019年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	2014年度			2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度			2014年度			2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													</

退学者数

異動理由	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
一身上の都合	20	45	31	30	32	
進路変更	25	16	18	12	12	
計	45	61	49	42	44	

【帝塚山学院大学 就職等進路一覧】〔2018年9月および2019年3月卒業者〕

2019年5月1日

帝塚山学院大学										
業 種	人間科学部									
	大学計	リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科(L)	キャリア英語学科(S)	情報メディア学科(C)	心理学科(H)	食物栄養学科		学部計		
						管理栄養士家庭(N)	健康実践栄養士課程(NP)			
1 農業、林業、漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2 建設業	4	1	0	1	2	0	0	0	3	
3 鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4 製造業	35	9	3	5	7	8	3	26		
5 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6 情報通信業	12	1	0	9	1	0	1	11		
7 運輸業、郵便業	5	4	0	0	0	1	0	1	1	
8 卸売業	20	2	1	2	7	3	5	18		
9 小売業	57	14	4	3	8	19	9	43		
10 金融・保険業	6	2	0	1	3	0	0	4		
11 不動産・物品賃貸業	10	1	1	1	5	0	0	2		
12 学術研究・専門・技術サービス業	5	1	0	0	3	0	0	1	4	
13 宿泊業・飲食サービス業	19	4	1	0	1	8	5	15		
14 給食業	33	0	0	0	0	29	4	33		
15 生活関連サービス・娯楽業	8	3	0	1	3	0	1	5		
16 教育、学習支援業	5	0	0	0	4	1	0	5		
17 医療・福祉業	24	2	1	0	3	14	4	22		
18 複合サービス事業	2	0	0	0	0	2	0	2		
19 その他サービス業	20	3	3	3	7	2	2	17		
20 公務	2	0	0	0	1	0	1	2		
21 分類不能	0	0	0	0	0	0	0	0		
99 【進学決定者】	11	1	1	0	7	2	0	10		
卒業者数	319	58	16	30	84	91	40	261		
就職希望者数	279	50	14	27	61	88	39	229		
就職者数(実内定者数)	267	47	14	26	55	87	38	220		
進学希望者数	17	1	1	0	13	2	0	16		
進学決定者数	11	1	1	0	7	2	0	10		
実就職率(就職者数/卒業者数-進学決定者数)	86.7%	82.5%	93.3%	86.7%	71.4%	97.8%	95.0%	87.6%		
内定率(内定者数/求職者数)	95.7%	94.0%	100.0%	96.3%	90.2%	98.9%	97.4%	96.1%		

帝塚山学院大学大学院人間科学研究科 入試・在籍・退学・進路状況

【入試状況報告】

		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
		臨床心理学専攻	人間科学専攻	臨床心理学専攻	人間科学専攻 (修士課程)	臨床心理学専攻	人間科学専攻 (修士課程)	臨床心理学専攻	人間科学専攻 (修士課程)	臨床心理学専攻	人間科学専攻 (修士課程)	臨床心理学専攻	人間科学専攻 (修士課程)
		(専門職学位課程)	健康科学コース メディア・言語文化コース	(専門職学位課程)	健康科学コース	(専門職学位課程)	健康科学コース メディア・言語文化コース	(専門職学位課程)	健康科学コース	(専門職学位課程)	健康科学コース メディア・言語文化コース	(専門職学位課程)	健康科学コース メディア・言語文化コース
一般	募集定員	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10
	志願者	32	1	0	0	21	0	23	0	22	0	32	0
	受験者	31	1	0	0	21	0	23	0	22	0	32	0
	合格者	21	1	0	0	15	0	11	0	13	0	19	0
	入学者	17	1	0	0	10	0	9	0	10	0	15	0
社会人	募集定員	若干名											
	志願者	1		0	4	4		2		0		0	
	受験者	1		0	4	4		2		0		0	
	合格者	0		0	2	2		1		0		0	
	入学者	0		0	1	1		1		0		0	
一般	募集定員	7	1	10	0	10	0	16	0	10	0	22	
	志願者	6	1	10	0	10	1	15	0	10	0	20	
	受験者	2	1	0	4	3	1	6	0	4	0	5	
	合格者	1	1	0	3	1	0	2	0	4	0	3	
	入学者	1	1	0	3	1	0	2	0	4	0	3	
社会人	募集定員												
	志願者	3		0	3	3		3		0		2	
	受験者	3		0	3	3		3		0		2	
	合格者	2		0	2	2		1		0		2	
	入学者	2		0	2	2		1		0		2	
合計	募集定員	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10
	志願者	43	2	40	0	38	0	44	0	32	0	56	0
	受験者	41	2	40	0	38	1	43	0	32	0	54	0
	合格者	25	2	19	0	22	1	20	0	17	0	26	0
	入学者	20	2	13	0	14	0	13	0	14	0	20	0
定員充足率		100%		65%		70%		65%		70%		100%	
		※Ⅱ期入試合格者数は、補欠合格2名含む				※Ⅰ期入試合格者数は、補欠合格3名含む							

大学院人間科学研究科

【大学院在籍者・退学状況】

在学者数(5月1日現在) *26年度は4月1日現在

		人間科学研究科																				
		26年度			27年度			28年度			29年度			30年度			31年度					
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
1年	臨床	4	16	20	3	10	13	5	9	14	4	9	13	5	9	14	6	14	20		20	0
	人間科学	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		10	△ 10
2年	臨床	6	16	22	5	17	22	3	10	13	6	9	15	4	9	13	5	9	14		20	△ 6
	人間科学	1	1	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		10	△ 10
合計	臨床	10	32	42	8	27	35	8	19	27	10	18	28	9	18	27	11	23	34		40	△ 6
	人間科学	3	1	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		20	△ 20
	計	13	33	46	10	27	37	8	19	27	10	18	28	9	18	27	11	23	34		60	△ 26

退学者数

異動理由	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
一身上の都合	1	0	0	0	1
計	1	0	0	0	1

【帝塚山学院大学大学院 就職等進路一覧】

2019年4月1日現在

【2018年度修了者】			
雇用形態	内容	職種	人数
常勤	松原ひかり幼稚園	心理職 その他	1
非常勤	帝塚山学院小学校 おおさか若者就労支援機構	心理職	1
非常勤	帝塚山学院大学 学生相談室 橋村メンタルクリニック	心理職	1
非常勤	帝塚山学院大学 学生相談室 帝塚山学院小学校 大阪府警察本部 青少年クリニック	心理職	1
常勤	帝塚山学院泉ヶ丘中学校・高等学校	養護教諭	1
非常勤	帝塚山学院小学校 東大阪子ども家庭センター	心理職	1
非常勤	八尾市教育センター 適応指導教室	心理職	1
非常勤	大阪府警察本部 青少年クリニック 松原適応指導教室	心理職	1
常勤	社会福祉法人聖家族の家 児童心理治療施設児童院	心理職	1
非常勤	帝塚山学院小学校 社会福祉法人南湖会 児童養護施設 泉ヶ丘学院	心理職	1
未定			1
合計			11

IV 財務の概要

1 2018年度決算の概要

財産目録、資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書および貸借対照表を別掲していますが、事業活動収支計算書を基に決算の概要を以下の通りご説明します。

1 教育活動収支

教育活動収入は、前年比 141,108 千円増加の 6,494,884 千円となりました。前年度と比較した主な増減の要因は次のとおりです。

- (1) 学生生徒等納付金は前年度に比べ、74,141 千円の増加となりました。主に大学での入学者が増加したことによるものであり、総額は 4,227,615 千円となりました。

(単位：人)

	2017 年 5 月 1 日現在	2018 年 5 月 1 日現在
大学・大学院	1,526	1,535
住吉中高	1,476	1,460
泉ヶ丘中高	1,362	1,406
小学校	673	676
幼稚園	136	142
合計	5,173	5,219

() 内は、前年度決算額との増減を示し、△は減少額。

大学・大学院	1,898,258 千円	(30,715 千円)
住吉中高	956,430 千円	(3,259 千円)
泉ヶ丘中高	869,502 千円	(27,817 千円)
小学校	446,104 千円	(6,062 千円)
幼稚園	57,320 千円	(6,285 千円)
合計	4,227,615 千円	(74,141 千円)

- (2) 寄付金は、前年度に創立 100 周年記念寄付金（受配者指定寄付金の受取）があったこと等から 40,185 千円の減少となりました。
- (3) 経常費等補助金は、大阪府就学支援実証補助金の減少等から 14,450 千円の減少となりました。
- (4) 雑収入は、退職者の増加による退職金財団等交付金が前年比 47,566 千円の増加したことに加え、台風 21 号被害に対する保険金収入が 29,074 百万円あったことから、96,022 千円の増加となりました。

教育活動支出は、前年比 308,853 千円増加の 6,711,450 千円となりました。前年度と比較した主な増減の要因は次のとおりです。

- (5) 人件費のうち、教職員人件費は 3,907,985 千円と 103,683 千円増加となりました。
退職金関係支出では、退職者増加による退職給与引当金繰入額等の増加が 34,707 千円となり、人件費全体では 138,391 千円増加の 4,350,951 千円となりました。
- (6) 教育研究経費と管理経費の合計額は 169,327 千円増加しました。、台風被害やキャンパス再整備準備費用などに加え、奨学費、委託費等が増加したことによるものです。

以上の要因により教育活動収支差額は、前年比 167,744 千円減少の 216,566 千円の赤字となりました。

2 教育活動外収支

収入の部は受取利息・配当金収入および収益事業収入の合計 17,428 千円となりました。
支出の部は計上項目がなかったことにより、教育活動外収支差額は、17,428 千円の黒字となりました。

教育活動収支および教育活動外収支を合わせた経常収支差額は、前年比 171,586 千円減少の 199,137 千円の赤字となりました。

3 特別収支差額

収入の部は施設設備補助金が前年度より増加したことから合計 29,919 千円となりました。支出の部は図書資産処分差額を 9,582 千円計上しました。以上の要因により特別収支差額は 20,336 千円の黒字となりました。

基本金組入前当年度収支差額は、前年比 158,850 千円減少の 178,800 千円の赤字となりました。

4 基本金組入額

当年度は前年度より継続して実施しているエアコンの取替更新やトイレ改修などに加え、住吉校内にラーニング・コモンズを整備したことなどから、前年比 144,759 千円増加の 394,830 千円となりました。

当年度収支差額は前年比 303,610 千円減少の△573,630 千円となり、基本金取崩額を加味した翌年度繰越収支差額は△9,744,137 千円となりました。

(1) 平成30年度財産目録

財 産 目 録

平成31年3月31日現在

I 資産総額	24,439,114,484 円
うち 基本財産	20,372,636,242 円
運用財産	4,035,434,532 円
収益事業用財産	31,043,710 円
II 負債総額	3,157,592,329 円
III 正味財産	21,281,522,155 円

区 分		金 額
I 資産額		
(一) 基本財産		20,372,636,242 円
1 土地	152,991.09 m ²	3,017,378,544 円
2 建物	84,090.07 m ²	10,064,370,039 円
付属建物	126.32 m ²	10,818,912 円
構築物		273,845,222 円
3 図書	716,100 冊	2,696,392,916 円
4 教具・校具・備品	10,769 点	616,443,278 円
5 その他		3,693,387,331 円
(二) 運用財産		4,035,434,532 円
1 現金、預金		3,754,126,784 円
2 有価証券		0 円
3 その他		281,307,748 円
(三) 収益事業用財産		31,043,710 円
1 預金		31,043,710 円
合 計		24,439,114,484 円
II 負債額		
(一) 固定負債		1,708,977,742 円
1 長期借入金		0 円
2 学校債		454,620,000 円
3 引当金		1,203,811,670 円
4 長期未払金		50,546,072 円
(二) 流動負債		1,447,725,187 円
1 短期借入金(短期学校債含む)		127,100,000 円
2 短期未払金		661,399,106 円
3 前受金		493,169,580 円
4 その他		166,056,501 円
(三) 収益事業用負債		889,400 円
1 未払法人税等		889,400 円
合 計		3,157,592,329 円
正味財産(資産総額－負債総額)		21,281,522,155 円

(2) 平成30年度資金収支計算書

比較資金収支計算書

(単位：円)

収入の部			
科 目	平成29年度	平成30年度	差 異
学生生徒等納付金収入	4,153,474,393	4,227,615,581	74,141,188
手数料収入	67,936,798	82,048,376	14,111,578
寄付金収入	154,840,381	119,324,641	△ 35,515,740
補助金収入	1,428,277,211	1,423,380,202	△ 4,897,009
資産売却収入	710,230,000	967,897,367	257,667,367
付随事業・収益事業収入	299,831,346	308,799,734	8,968,388
受取利息・配当金収入	16,770,338	15,428,792	△ 1,341,546
雑収入	234,226,527	314,568,278	80,341,751
借入金等収入	91,800,000	88,100,000	△ 3,700,000
前受金収入	412,417,472	493,169,580	80,752,108
その他の収入	2,436,553,727	1,943,173,285	△ 493,380,442
資金収入調整勘定	△ 688,717,067	△ 690,454,401	△ 1,737,334
前年度繰越支払資金	3,844,150,635	3,877,124,328	32,973,693
収入の部合計	13,161,791,761	13,170,175,763	8,384,002
支出の部			
科 目	平成29年度	平成30年度	差 異
人件費支出	4,269,405,326	4,410,046,058	140,640,732
教育研究経費支出	1,156,880,409	1,240,898,358	84,017,949
管理経費支出	499,585,347	564,671,873	65,086,526
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	109,500,000	119,380,000	9,880,000
施設関係支出	228,357,705	310,364,054	82,006,349
設備関係支出	132,380,311	190,338,953	57,958,642
資産運用支出	3,069,998,985	2,677,442,559	△ 392,556,426
その他の支出	405,256,710	584,681,861	179,425,151
資金支出調整勘定	△ 586,697,360	△ 681,774,737	△ 95,077,377
翌年度繰越支払資金	3,877,124,328	3,754,126,784	△ 122,997,544
支出の部合計	13,161,791,761	13,170,175,763	8,384,002

(3) 平成30年度活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書

平成30年 4月 1日から

平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科 目		金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入
		4,227,615,581
		手数料収入
		82,048,376
		特別寄付金収入
		5,233,000
		一般寄付金収入
		109,116,264
		経常費等補助金収入
		1,401,662,202
		付随事業収入
		306,799,734
		雑収入
		314,568,278
		教育活動資金収入計
		6,447,043,435
支出	人件費支出	4,410,046,058
	教育研究経費支出	1,240,898,358
	管理経費支出	564,671,873
	教育活動資金支出計	6,215,616,289
	差引	231,427,146
	調整勘定等	110,252,997
	教育活動資金収支差額	341,680,143
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入
		4,975,377
		施設設備補助金収入
		21,718,000
		施設整備等活動資金収入計
		26,693,377
	支出	施設関係支出
		310,364,054
		設備関係支出
		190,338,953
		減価償却引当特定資産繰入支出
		250,000,000
		施設整備等活動資金支出計
		750,703,007
	差引	△ 724,009,630
	調整勘定等	△ 16,553,000
	施設整備等活動資金収支差額	△ 740,562,630
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		△ 398,882,487
その他の活動	収入	借入金等収入
		88,100,000
		有価証券償還収入
		967,897,367
		第3号基本金引当特定資産取崩収入
		64,370,000
		退職給与引当特定資産取崩収入
		1,000,565,839
		学校債引当特定資産取崩収入
		92,609,353
		法人諸引当特定資産取崩収入
		50,000,000
		百周年施設設備引当特定資産取崩収入
		475,000,000

による資金収支	百周年奨学金引当特定資産取崩収入	60,000,000
	預り金受入収入	7,893,786
	小計	2,806,436,345
	受取利息・配当金収入	15,428,792
	収益事業収入	2,000,000
	その他の活動資金収入計	2,823,865,137
	借入金等返済支出	119,380,000
	有価証券購入支出	967,897,367
	第3号基本金引当特定資産繰入支出	64,370,000
	退職給与引当特定資産繰入支出	800,565,839
	学校債引当特定資産繰入支出	92,609,353
	法人諸引当特定資産繰入支出	50,000,000
	百周年施設設備引当特定資産繰入支出	400,000,000
	百周年奨学金引当特定資産繰入支出	52,000,000
	立替金支払支出	1,308,225
	仮受金支払支出	8,500
	小計	2,548,139,284
	その他の活動資金支出計	2,548,139,284
	差引	275,725,853
	調整勘定等	159,090
	その他の活動資金収支差額	275,884,943
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		△ 122,997,544
前年度繰越支払資金		3,877,124,328
翌年度繰越支払資金		3,754,126,784

(4) 平成30年度事業活動収支計算書

比較事業活動収支計算書

(単位：円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	平成29年度	平成30年度	差異
		学生生徒等納付金	4,153,474,393	4,227,615,581	△ 74,141,188
		手数料	67,936,798	82,048,376	△ 14,111,578
		寄付金	154,740,381	114,554,464	40,185,917
		經常費等補助金	1,416,112,211	1,401,662,202	14,450,009
		付随事業収入	295,331,346	306,799,734	△ 11,468,388
		雑収入	266,181,276	362,204,167	△ 96,022,891
		教育活動収入計	6,353,776,405	6,494,884,524	△ 141,108,119
	事業活動支出の部	科 目	平成29年度	平成30年度	差異
		人件費	4,212,559,728	4,350,951,474	△ 138,391,746
		教育研究経費	1,663,586,251	1,766,289,705	△ 102,703,454
		管理経費	526,271,930	592,896,183	△ 66,624,253
		徴収不能額等	180,000	1,313,576	△ 1,133,576
		教育活動支出計	6,402,597,909	6,711,450,938	△ 308,853,029
教育活動収支差額		△ 48,821,504	△ 216,566,414	167,744,910	
教育活動外収支	収事業の活動の部	科 目	平成29年度	平成30年度	差異
		受取利息・配当金	16,770,338	15,428,792	1,341,546
		その他の教育活動外収入	4,500,000	2,000,000	2,500,000
		教育活動外収入計	21,270,338	17,428,792	3,841,546
	支事業の活動の部	科 目	平成29年度	平成30年度	差異
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	21,270,338	17,428,792	3,841,546	
	經常収支差額		△ 27,551,166	△ 199,137,622	171,586,456
特別収支	収事業の活動の部	科 目	平成29年度	平成30年度	差異
		資産売却差額	229,999	0	229,999
		その他の特別収入	16,195,221	29,919,272	△ 13,724,051
		特別収入計	16,425,220	29,919,272	△ 13,494,052
	支事業の活動の部	科 目	平成29年度	平成30年度	差異
		資産処分差額	8,824,175	9,582,395	△ 758,220
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	8,824,175	9,582,395	△ 758,220
	特別収支差額	7,601,045	20,336,877	△ 12,735,832	
	基本金組入前当年度収支差額		△ 19,950,121	△ 178,800,745	158,850,624
基本金組入額合計		△ 250,070,414	△ 394,830,166	144,759,752	
当年度収支差額		△ 270,020,535	△ 573,630,911	303,610,376	
前年度繰越収支差額		△ 8,913,593,936	△ 9,183,614,471	270,020,535	
基本金取崩額		0	13,108,055	△ 13,108,055	
翌年度繰越収支差額		△ 9,183,614,471	△ 9,744,137,327	560,522,856	
(参考)					
事業活動収入計		6,391,471,963	6,542,232,588	△ 150,760,625	
事業活動支出計		6,411,422,084	6,721,033,333	△ 309,611,249	

(5) 平成30年度貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成31年 3月31日

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	20,372,636,242	20,464,700,192	△ 92,063,950
有形固定資産	16,683,038,341	16,742,134,978	△ 59,096,637
土地	3,017,378,544	3,017,378,544	0
建物	10,075,188,951	10,186,505,930	△ 111,316,979
構築物	273,845,222	286,039,087	△ 12,193,865
教育研究用機器備品	558,843,178	506,918,626	51,924,552
図書	2,696,392,916	2,692,983,440	3,409,476
その他の有形固定資産	61,389,530	52,309,351	9,080,179
特定資産	3,656,370,000	3,689,370,000	△ 33,000,000
その他の固定資産	33,227,901	33,195,214	32,687
流動資産	4,035,434,532	4,073,081,345	△ 37,646,813
現金預金	3,754,126,784	3,877,124,328	△ 122,997,544
有価証券	0	0	0
その他の流動資産	281,307,748	195,957,017	85,350,731
資産の部合計	24,408,070,774	24,537,781,537	△ 129,710,763

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,708,977,742	1,846,671,674	△ 137,693,932
学校債	454,620,000	505,800,000	△ 51,180,000
退職給与引当金	1,203,811,670	1,310,542,143	△ 106,730,473
長期未払金	50,546,072	30,329,531	20,216,541
流動負債	1,447,725,187	1,260,941,273	186,783,914
学校債	127,100,000	107,200,000	19,900,000
前受金	493,169,580	412,417,472	80,752,108
その他の流動負債	827,455,607	741,323,801	86,131,806
負債の部合計	3,156,702,929	3,107,612,947	49,089,982

純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	30,995,505,172	30,613,783,061	381,722,111
第1号基本金	30,435,135,172	30,053,413,061	381,722,111
第3号基本金	124,370,000	124,370,000	0
第4号基本金	436,000,000	436,000,000	0
繰越収支差額	△ 9,744,137,327	△ 9,183,614,471	△ 560,522,856
翌年度繰越収支差額	△ 9,744,137,327	△ 9,183,614,471	△ 560,522,856
純資産の部合計	21,251,367,845	21,430,168,590	△ 178,800,745

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債及び純資産の部 合計	24,408,070,774	24,537,781,537	△ 129,710,763

(7)収益事業 貸借対照表

収 益 事 業 貸 借 対 照 表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	31,043,710	流 動 負 債	889,400
預 金	31,043,710	未払法人税等	338,400
		未払消費税等	551,000
		(純 資 産 の 部)	
		利 益 剰 余 金	30,154,310
		その他利益剰余金	30,154,310
		別 途 積 立 金	3,500,000
		繰越利益剰余金	26,654,310
資 産 合 計	31,043,710	負債・純資産合計	31,043,710

(8)収益事業 損益計算書

収 益 事 業 損 益 計 算 書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
【 売 上 高 】		
受 取 割 戻 金	6,018,216	6,018,216
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】		
租 税 公 課	471,000	
寄 付 金	2,000,000	2,471,000
営 業 利 益		3,547,216
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	298	
雑 収 入	351,546	351,844
経 常 利 益		3,899,060
税 引 前 当 期 純 利 益		3,899,060
当 期 純 利 益		3,899,060

2. 経年比較

(1) 資金収支の推移(平成26年度～平成30年度)

(単位:千円)

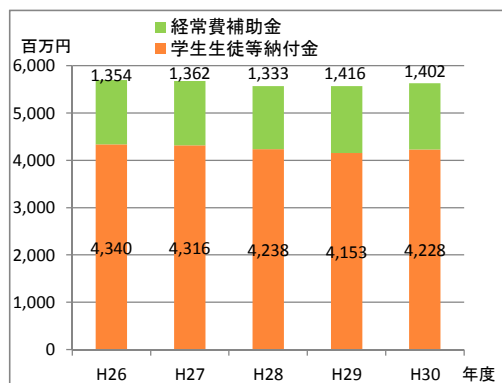
科 目		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	4,340,140	4,316,316	4,237,731	4,153,474	4,227,616
	手数料収入	65,452	65,815	68,001	67,937	82,048
	寄付金収入	150,058	174,431	239,656	154,840	119,325
	補助金収入	1,354,422	1,396,830	1,359,765	1,428,277	1,423,380
	資産売却収入	423,968	564,650	1,769,500	710,230	967,897
	付随事業・収益事業収入	258,973	279,103	281,304	299,831	308,800
	受取利息・配当金収入	39,311	23,551	23,344	16,770	15,429
	雑収入	218,979	216,017	159,760	234,227	314,568
	借入金等収入	102,800	101,200	112,000	91,800	88,100
	前受金収入	504,592	521,384	496,093	412,417	493,170
	その他の収入	1,702,041	1,883,804	2,123,859	2,436,554	1,943,173
	資金収入調整勘定	△ 742,825	△ 711,461	△ 660,239	△ 688,717	△ 690,454
	前年度繰越支払資金	3,533,603	3,599,129	3,478,857	3,844,151	3,877,124
	収入の部合計	11,951,514	12,430,769	13,689,630	13,161,792	13,170,176
支出の部	人件費支出	4,172,580	4,097,130	3,967,034	4,269,405	4,410,046
	教育研究経費支出	1,005,945	1,045,168	1,048,020	1,156,880	1,240,898
	管理経費支出	444,436	433,968	602,471	499,585	564,672
	借入金等利息支出	13,010	8,464	0	0	0
	借入金等返済支出	272,170	630,530	112,970	109,500	119,380
	施設関係支出	201,236	242,551	88,677	228,358	310,364
	設備関係支出	156,365	171,791	130,500	132,380	190,339
	資産運用支出	2,091,626	2,351,436	3,697,924	3,069,999	2,677,443
	その他の支出	553,186	558,259	591,036	405,257	584,682
	資金支出調整勘定	△ 558,167	△ 587,386	△ 393,153	△ 586,697	△ 681,775
	次年度繰越支払資金	3,599,129	3,478,857	3,844,151	3,877,124	3,754,127
	支出の部合計	11,951,516	12,430,768	13,689,630	13,161,792	13,170,176

(2) 事業活動収支(平成27・28・29・30年度のみ)

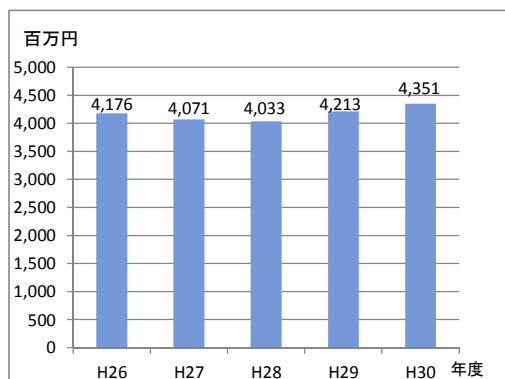
(単位：千円)

教育活動収支	収入の部	科 目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		学生生徒等納付金	4,340,140	4,316,316	4,237,731	4,153,474	4,227,616	①
		手数料	65,452	65,815	68,001	67,937	82,048	
		寄付金	157,195	175,977	124,739	154,740	114,554	②
		経常費等補助金	1,354,422	1,361,686	1,332,742	1,416,112	1,401,662	③
		付随事業収入	258,973	274,603	276,804	295,331	306,800	
		雑収入	231,963	243,269	165,685	266,181	362,204	
		教育活動収入計	6,408,145	6,437,666	6,205,701	6,353,776	6,494,885	④
	支出の部	科 目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		人件費	4,176,356	4,070,797	4,033,290	4,212,560	4,350,951	⑤
		教育研究経費	1,504,397	1,550,296	1,552,534	1,663,586	1,766,290	⑥
		管理経費	474,832	461,451	629,922	526,272	592,896	⑦
		徴収不能額等	244	898	0	180	1,314	
		教育活動支出計	6,155,829	6,083,442	6,215,747	6,402,598	6,711,451	⑧
		教育活動収支差額	252,316	354,224	△ 10,046	△ 48,822	△ 216,566	⑨
教育活動外収支	収入の部	科 目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		受取利息・配当金	39,311	23,551	23,344	16,770	15,429	
		その他の教育活動外収入	0	4,500	4,500	4,500	2,000	
		教育活動外収入計	39,311	28,051	27,844	21,270	17,429	⑩
	支出の部	科 目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		借入金等利息	13,010	8,464	0	0	0	⑪
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	
		教育活動外支出計	13,010	8,464	0	0	0	⑫
		教育活動外収支差額	26,301	19,587	27,844	21,270	17,429	
		経常収支差額	278,617	373,811	17,799	△ 27,551	△ 199,138	⑬
特別収支	収入の部	科 目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		資産売却差額	0	250	0	230	0	
		その他の特別収入	0	38,644	147,488	16,195	29,919	
		うち、施設設備寄付金	0	3,500	115,020	100	4,975	⑭
		うち、施設設備補助金	0	35,144	27,023	12,165	21,718	⑮
		特別収入計	0	38,894	147,488	16,425	29,919	
	支出の部	科 目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		資産処分差額	6,714	10,084	8,261	8,824	9,582	
		その他の特別支出	0	0	0	0	0	
		特別支出計	6,714	10,084	8,261	8,824	9,582	
		特別収支差額	△ 6,714	28,810	139,226	7,601	20,337	
		基本金組入前当年度収支差額	271,903	402,621	157,025	△ 19,950	△ 178,801	⑯
		基本金組入額合計	△ 349,636	△ 784,612	△ 182,166	△ 250,070	△ 394,830	⑰
		当年度収支差額	△ 77,733	△ 381,991	△ 25,141	△ 270,021	△ 573,631	
		前年度繰越収支差額	△ 8,551,530	△ 8,624,247	△ 8,894,453	△ 8,913,594	△ 9,183,614	
		基本金取崩額	5,015	111,785	6,000	0	13,108	
		翌年度繰越収支差額	△ 8,624,248	△ 8,894,453	△ 8,913,594	△ 9,183,614	△ 9,744,137	
		(参考)						
		事業活動収入計	6,447,456	6,504,611	6,381,033	6,391,472	6,542,233	⑰
		事業活動支出計(予備費含む)	6,175,553	6,101,990	6,224,008	6,411,422	6,721,033	⑱
		減価償却額	629,893	532,778	532,291	533,398	553,413	⑳

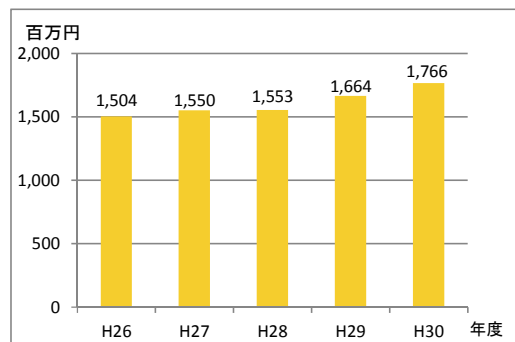
図表1 学生生徒等納付金＋補助金の推移



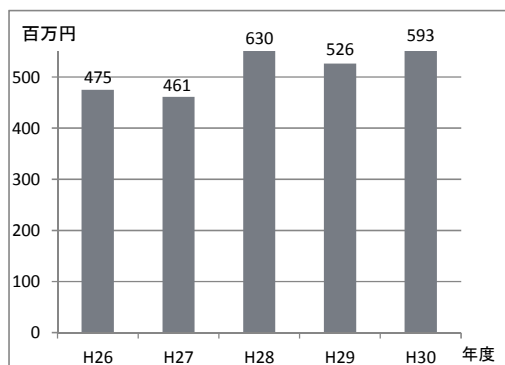
図表2 人件費の推移



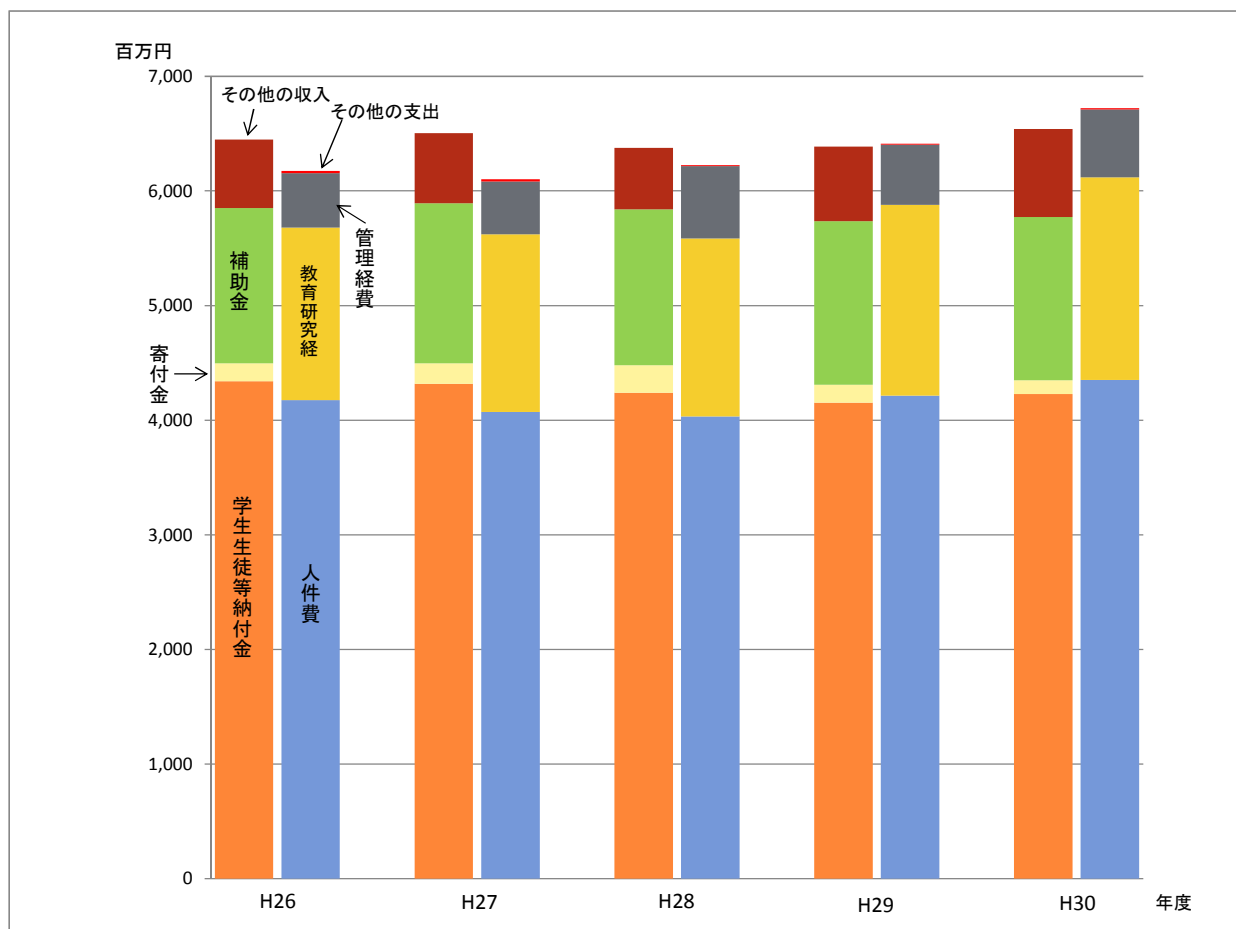
図表3 教育研究経費の推移



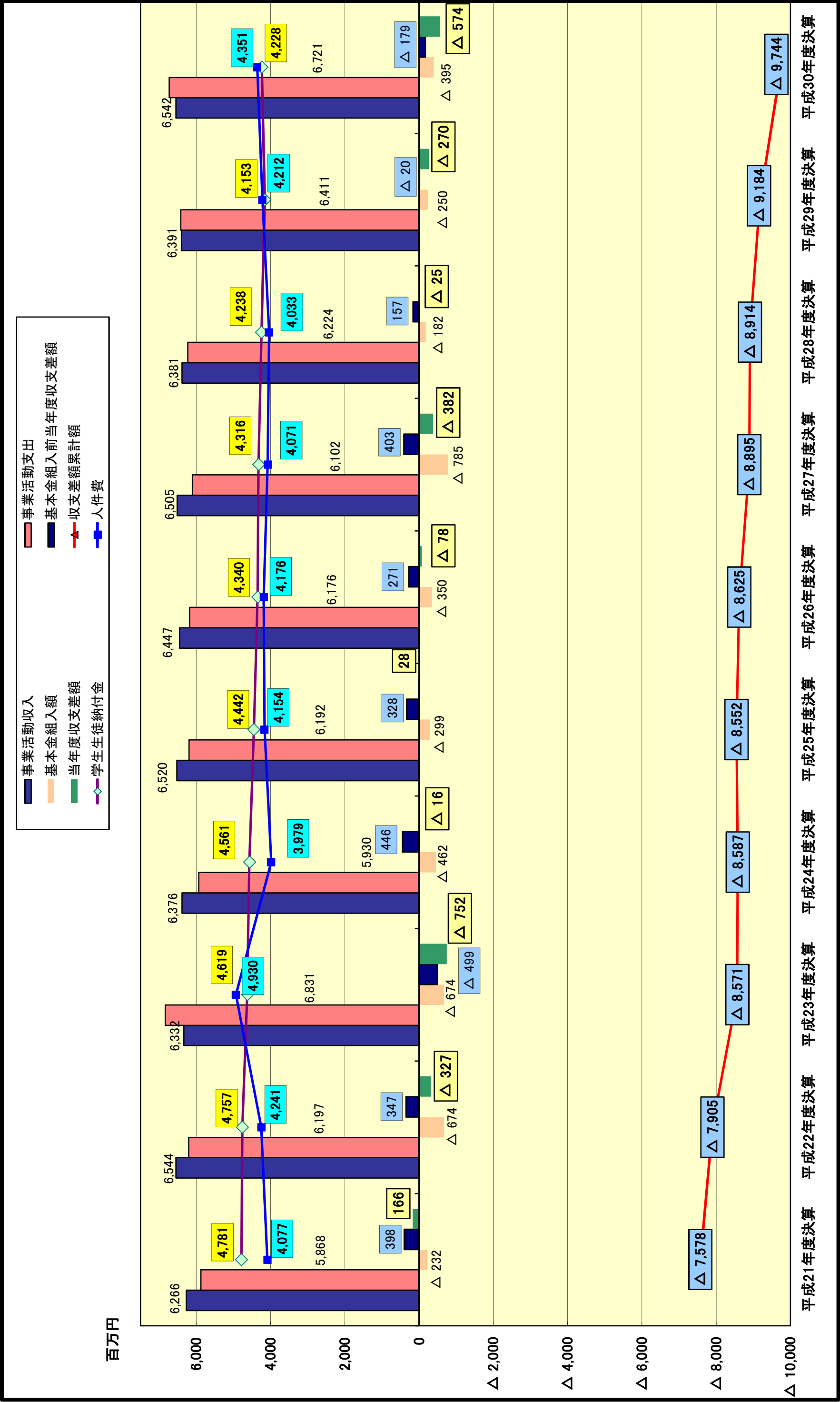
図表4 管理経費の推移



図表5 事業活動収支の推移



図表6 平成21年度～平成30年度別事業活動(旧消費)収支計算推移表



(3) 貸借対照表の推移(平成26年度～平成30年度)

(単位:千円)

資 産 の 部						
科 目		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
固	定 資 産	20,857,844	20,865,522	20,562,116	20,464,700	20,372,636
	有 形 固 定 資 産	17,370,751	17,236,052	16,927,650	16,742,135	16,683,038
	う ち 、 土 地	3,017,379	3,017,379	3,017,379	3,017,379	3,017,379
	う ち 、 建 物	11,084,381	10,748,409	10,374,981	10,186,506	10,075,189
	う ち 、 構 築 物	99,901	257,523	291,944	286,039	273,845
	うち、教育研究用機器備品	464,146	496,904	514,910	506,919	558,843
	う ち 、 図 書	2,657,673	2,671,504	2,682,812	2,692,983	2,696,393
	その他の有形固定資産	47,271	44,333	45,624	52,309	61,390
	特 定 資 産	3,487,093	3,597,141	3,609,237	3,689,370	3,656,370
	そ の 他 の 固 定 資 産	3,487,093	32,329	25,229	33,195	33,228
流	動 資 産	3,830,538	3,697,746	3,989,686	4,073,081	4,035,435
	う ち 、 現 金 ・ 預 金	3,599,129	3,478,857	3,844,151	3,877,124	3,754,127
	う ち 、 有 価 証 券	0	0	0	0	0
	そ の 他	231,409	218,889	145,535	195,957	281,308
資 産 の 部 合 計		24,688,382	24,563,268	24,551,801	24,537,782	24,408,071

負 債 の 部						
科 目		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
固	定 負 債	2,317,382	1,907,515	1,952,777	1,846,672	1,708,978
	う ち 、 長 期 借 入 金	361,010	0	0	0	0
	う ち 、 学 校 債	523,070	522,270	526,600	505,800	454,620
	うち、退 職 給 与 引 当 金	1,390,121	1,339,011	1,399,342	1,310,542	1,203,812
	そ の 他	43,181	46,234	26,834	30,330	50,546
流	動 負 債	1,480,527	1,362,660	1,148,906	1,260,941	1,447,725
	う ち 、 短 期 借 入 金	166,620	0	0	0	0
	う ち 、 前 受 金	504,592	521,384	496,093	412,417	493,170
	そ の 他	809,315	841,276	652,813	848,524	954,556
負 債 の 部 合 計		3,797,909	3,270,175	3,101,683	3,107,613	3,156,703

純 資 産 の 部						
科 目		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
基本金		29,514,720	30,187,547	30,363,713	30,613,783	30,995,505
ア	第 1 号 基 本 金	28,948,350	29,621,177	29,803,343	30,053,413	30,435,135
イ	第 2 号 基 本 金	0	0	0	0	0
ウ	第 3 号 基 本 金	124,370	124,370	124,370	124,370	124,370
エ	第 4 号 基 本 金	442,000	442,000	436,000	436,000	436,000
繰越収支差額		△ 8,624,247	△ 8,894,453	△ 8,913,594	△ 9,183,614	△ 9,744,137
	翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 8,624,247	△ 8,894,453	△ 8,913,594	△ 9,183,614	△ 9,744,137
純 資 産 の 部 合 計		20,890,473	21,293,094	21,450,119	21,430,169	21,251,368

科 目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	24,688,382	24,563,269	24,551,801	24,537,782	24,408,071

(参考)

科 目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
減 価 償 却 の 累 計 額 の 合 計 額	12,100,825	12,436,726	12,870,831	13,311,315	13,787,864	S
減 価 償 却 資 産 取 得 価 額	23,796,524	24,008,267	24,115,563	24,363,589	24,736,213	T
基 本 金 未 組 入 額	546,173	83,912	20,351	33,215	68,979	U
退 職 給 与 引 当 特 定 資 産	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,300,000	V
退 職 給 与 引 当 金	1,390,121	1,339,011	1,399,342	1,310,542	1,203,812	W

(4)財務比率表の推移(平成26年度～平成30年度)

区 分				26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業活動収支計算書関係比率	比率	算式(×100)						
	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	$\frac{\text{⑤}}{\text{④} + \text{⑩}}$	64.8%	63.0%	64.7%	66.1%	66.8%
	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	$\frac{\text{⑤}}{\text{①}}$	96.2%	94.3%	95.2%	101.4%	102.9%
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	$\frac{\text{⑥}}{\text{④} + \text{⑩}}$	23.3%	24.0%	24.9%	26.1%	27.1%
	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	$\frac{\text{⑦}}{\text{④} + \text{⑩}}$	7.4%	7.1%	10.1%	8.3%	9.1%
	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	$\frac{\text{⑪}}{\text{④} + \text{⑩}}$	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	$\frac{\text{⑬}}{\text{⑮}}$	4.2%	6.2%	2.5%	-0.3%	-2.7%
	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入－基本金組入額}}$	$\frac{\text{⑲}}{\text{⑮} - \text{⑰}}$	101.3%	106.7%	100.4%	104.4%	109.3%
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	$\frac{\text{①}}{\text{④} + \text{⑩}}$	67.3%	66.8%	68.0%	65.2%	64.9%
	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	$\frac{\text{②} + \text{⑭}}{\text{⑮}}$	2.4%	2.8%	3.8%	2.4%	1.8%
	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	$\frac{\text{②}}{\text{④} + \text{⑩}}$	2.4%	2.7%	2.0%	2.4%	1.8%
	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	$\frac{\text{③} + \text{⑮}}{\text{⑮}}$	21.0%	21.5%	21.3%	22.3%	21.8%
	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	$\frac{\text{③}}{\text{④} + \text{⑩}}$	21.0%	21.1%	21.4%	22.2%	21.5%
	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	$\frac{\text{⑰}}{\text{⑮}}$	5.4%	12.1%	2.9%	3.9%	6.0%
	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	$\frac{\text{⑳}}{\text{⑧} + \text{⑫}}$	10.2%	8.7%	8.6%	8.3%	8.2%
	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	$\frac{\text{⑬}}{\text{④} + \text{⑩}}$	4.3%	5.8%	0.3%	-0.4%	-3.1%
	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	$\frac{\text{⑨}}{\text{④}}$	3.9%	5.5%	-0.2%	-0.8%	-3.3%

(注記)

小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位までを記入。

区 分				26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
貸 借 対 照 表	比率	算式(×100)						
	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	$\frac{A}{G}$	84.5%	84.9%	83.7%	83.4%	83.5%
	有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	$\frac{B}{G}$	70.4%	70.2%	68.9%	68.2%	68.4%
	特定資産構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	$\frac{C}{G}$	14.1%	14.6%	14.7%	15.0%	15.0%
	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	$\frac{D}{G}$	15.5%	15.1%	16.3%	16.6%	16.5%
	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債 + 純資産}}$	$\frac{H}{R}$	9.4%	7.8%	8.0%	7.5%	7.0%
	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{負債 + 純資産}}$	$\frac{J}{R}$	6.0%	5.5%	4.7%	5.1%	5.9%
	内部留保資産比率	$\frac{\text{運用資産 - 総負債}}{\text{総資産}}$	$\frac{(E+C+F)-L}{G}$	13.3%	15.5%	17.7%	18.2%	17.4%
	運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産 - 外部負債}}{\text{経常支出}}$	$\frac{(E+C+F)-(L-K-I)}{\text{⑧} + \text{⑫}}$	84.0%	93.0%	100.5%	96.6%	88.7%
	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債 + 純資産}}$	$\frac{Q}{R}$	84.6%	86.7%	87.4%	87.3%	87.1%
	繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{負債 + 純資産}}$	$\frac{P}{R}$	-34.9%	-36.2%	-36.3%	-37.4%	-39.9%
	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	$\frac{A}{Q}$	99.8%	98.0%	95.9%	95.5%	95.9%
	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産 + 固定負債}}$	$\frac{A}{Q+H}$	89.9%	89.9%	87.9%	87.9%	88.7%
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	$\frac{D}{J}$	258.7%	271.4%	347.3%	323.0%	278.7%
	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	$\frac{L}{G}$	15.4%	13.3%	12.6%	12.7%	12.9%
	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	$\frac{L}{Q}$	18.2%	15.4%	14.5%	14.5%	14.9%
	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	$\frac{E}{K}$	713.3%	667.2%	774.9%	940.1%	761.2%
	退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	$\frac{V}{W}$	107.9%	112.0%	107.2%	114.5%	108.0%
	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	$\frac{M}{M+U}$	98.2%	99.7%	99.9%	99.9%	99.8%
	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価額(図書を除く)}}$	$\frac{S}{T}$	50.9%	51.8%	53.4%	54.6%	55.7%
	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	$\frac{E+C+F}{S+I+N+O}$	52.0%	50.9%	51.8%	51.3%	49.0%